

令和6年度第2回越谷市立小中学校使用教科用図書選定委員会

令和6年7月5日(金)

越谷市教育センター会議室A B

13:30～16:30

- 1 開 会
- 2 推薦教科書の選定について
  - (1) 「教科書選定」の観点の確認(事務局)
  - (2) 調査部会長より報告
  - (3) 調査部会長への質疑
  - (4) 推薦のための協議
- 3 推薦教科書の確認(事務局)
- 4 事務連絡
- 5 閉 会

令和7年度使用中学校教科用図書採択 選定委員名簿

選定委員（14人）

| 担当部会   | 学 校 名       | 職 名            | 氏 名     |
|--------|-------------|----------------|---------|
| 保護者    | 越谷市PTA連合会   | 花田小学校<br>PTA会長 | 小 泉 智 子 |
| 保護者    | 越谷市PTA連合会   | 中央中学校<br>PTA会長 | 田部井 亜津子 |
| 有識者    | 元埼玉県公立小中学校長 |                | 石 塚 保 二 |
| 国語     | 大相模中学校      | 校 長            | 神 田 博 之 |
| 社会     | 大袋東小学校      | 校 長            | 鈴 木 秀 明 |
| 数学     | 北中学校        | 校 長            | 萩 原 弘 之 |
| 理科     | 中央中学校       | 校 長            | 石 山 秀 樹 |
| 音楽     | 光陽中学校       | 教 頭            | 伊 東 猛   |
| 美術     | 大沢北小学校      | 校 長            | 岡 村 勝 成 |
| 技術・家庭  | 富士中学校       | 教 頭            | 山 崎 京 子 |
| 保健体育   | 南中学校        | 教 頭            | 生 方 基 之 |
| 英語     | 新栄中学校       | 校 長            | 原 田 肇 子 |
| 道德     | 大袋中学校       | 教 頭            | 伊 藤 裕 介 |
| 特別支援教育 | 平方中学校       | 校 長            | 木野内 英 雄 |

○司会 では、定刻になりましたので、ただいまより令和7年度使用中学校教科用図書に係る第2回選定委員会を開会いたします。

本日司会を務めます事務局指導課、三浦でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

出席委員数を確認させていただきます。本日、14名の委員が出席しておりますので、越谷市立小中学校使用教科用図書選定委員会条例第6条2項の規定に基づき、会議が成立することをご報告させていただきます。

議長は、越谷市立小中学校教科用図書選定委員会条例第5条2項の規定により、委員長の原田様にお願いいたします。

○原田委員長 それでは、しばらくの間議長を務めさせていただきます。委員の皆様のご協力をお願いいたします。

議事に先立ちまして、本委員会の会議の公開、非公開に関することについてですが、越谷市立小中学校使用教科用図書選定委員会条例6条第5項に従って、原則どおり公開という形で進めたいと考えております。委員の皆様、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○原田委員長 賛意をいただきましたので、原則どおり公開とさせていただきます。

〔傍聴人入室〕

○原田委員長 本日は、傍聴の方が7名いらっしゃいます。傍聴される皆様におかれましては、入場のときにお配りした資料の中にございます越谷市立小中学校使用教科用図書選定委員会傍聴要領に従って傍聴いただきますようお願いいたします。

議事に入る前に配付資料と本日の流れについて事務局から確認をお願いいたします。

○事務局 本日の配付資料は、資料1として各中学校の調査研究集計一覧、資料2として展示会アンケート集計一覧、資料3として各部会からの調査報告書となっています。

続いて、本日の流れでございますが、次第の裏面を御覧ください。本日は、国語、書写、数学、理科、美術、保健体育、技術家庭・技術分野、技術家庭・家庭分野、英語の9種目についてご協議いただきます。

1種目ごとに、部会長からの報告、質疑応答、協議という順に進めていただければと思います。

以上でございます。

○原田委員長 これより議事に入ります。

最初は、国語になります。

事務局より選定の観点を確認してください。

○事務局 資料3、1ページを御覧ください。選定の観点は、1、内容、2、資料、3、表記・表現、4、総括の4つの大きな項目であります。読み上げませんが、ご確認をお願いします。

以上でございます。

○原田委員長 ありがとうございます。

それでは、今の観点に基づいて、国語部会長より報告をお願いいたします。

○神田委員 失礼いたします。それでは、QRコード等を見ていただきたいと思います。

国語のほうは、各1年生の教科書を見ていただいたり、QRコードを見ていただいたりすることがございます。そのためにタブレットが置いてありますので、カメラのご準備をお願いいたします。

まず、1番の調査の観点の中ですが、今回の教科書も平成29年告示の学習指導要領としては変わっておりませんので、指導要領の今回出たときに大事にされていた部分、新設の部分等に絞ってお話をさせていただきたいと思います。

その点では、まず1の内容の(1)、1の内容の(3)、2の資料、3の表記・表現の(2)のところに絞って、まずは説明させていただきます。

まず、1、内容(1)です。知識及び技能が習得されるようになるための工夫で、様々なあるのですけれども、その中で注目されている情報の扱い方に土台を置いて説明をさせていただきます。

まず、東京書籍8ページを御覧ください。8ページのところを開いていただくと、一番上に「情報と論理の学び」というふうに、この1年生の中で学ぶものについて取り立てております。各学年とも同じようになっております。

具体を申し上げますと、66ページを御覧ください。このような構成で、ここでは分類と比較についてステップを踏みながら学べるようにしてあります。

そこの右下にQRコードがございますので、読み込んでいただければよろしいでしょうか。東京書籍の特徴、工夫が見られます。一番上の考えようをお願いします。

—動画視聴—

全部見てしまうと時間が終わってしまいますので、このようにつかみのところで、この教科書の流れに沿って、動画のほうでも補足しながら進めて、学びやすくする工夫をされております。

続いて、三省堂の1年生を御覧ください。まず、4ページを御覧ください。三省堂の情報の扱い方では、各学年に「情報と関係づける」を設けております。

4ページの右上の6番のところに少しまとめた形であるのが分かります。こちら

らでグラフや図表などの情報を関連づけながら、自分の考えを深める学習ができるようになっております。

具体を申し上げます。146ページをお開きください。特徴としては、先ほどのように少しまとめて、学んでいけるような工夫をされているところが特徴です。

続けて、同じく1年生、303ページを御覧ください。そこでは、同じ著作権と引用というものを、3学年ともに掲載して、リテラシーというところについても学べるようにしております。

続けて、教育出版に行きます。教育出版2ページを御覧ください。目次の下のほうにスマイルマークが3つついているところが情報メディアと表現と書いてあるのが分かります。

それで、目次を見ていただきますと、3番、4番、5番、8番のところにそのマークがあります。つまり、そこでは情報のモラル、メディアリテラシー等も含めて、この情報の扱いに関するものが、そこで学ぶことができますということです。

68ページを御覧ください。68ページが、その具体となっております。そのようになっているところが特徴です。こちらについては、教育出版の2年生に特徴的なものがありますので、2年生の86ページを開いていただいてよろしいですか。

こちらのほうでは、この情報とメディアについて、作者からのメッセージが入っているところが特徴的です。左下87ページのQRコード、今はやりませんが、書いていただいた1社から直接メディアリテラシーについてのメッセージがあることが特徴です。

続けて、光村図書にまいります。光村図書、1年生の2ページを御覧ください。光村図書は上にページ数の表示がありますので、下ではございません。2ページ目のところの1、2とあるところの2のところを見ていただくと、お分かりのとおり、「情報整理のレッスン比較・分類」とあります。

それと、4ページを御覧ください。4ページの5番に「思考のレッスン 意見と根拠」とあります。光村図書では、情報の扱い方は、この2つを設けて、練習問題を通して実践的に知識・技能の習得ができるように工夫されているところが特徴となります。

52ページを御覧ください。1つ目の「情報整理のレッスン」の具体がこちらです。下のところに問題1、問題2となっているところが、先ほどの練習問題とご説明させていただいたところです。

続いてまいります。内容の(3)のほうにまいります。今、国語の指導では、語彙指導というのは、とても大事にされております。この語彙指導の充実を話題にして説明さ

せていただきます。

東京書籍、1年生の40ページを御覧ください。東京書籍のほうでは、語彙指導では、まず物語、読むことの教材に「広がる言葉」というコーナーを設けております。この「広がる言葉」のコーナーというのは、47ページを御覧ください。47ページの下のところ、この物語文で学んだところの言葉から、さらに語彙を広げていこうというような形の学習です。3年間で5つのテーマについての言葉を大変多く確認するような工夫がされております。

続けて、三省堂にまいります。三省堂では、語彙指導につきましては、物語文の「語彙の豊かに」というコーナーを設けて、テーマに合わせた、ほかの言葉を少し学べるような工夫がされています。そちらについては77ページを御覧ください。この物語文を学習した最後のところに、「言葉を豊かに」というように数は少しでありますけれども、このように物語文の最後のところにコーナーを設けているのが特徴です。

続けて、教育出版に参ります。教育出版の318ページを御覧ください。教育出版1年生の318ページです。教育出版では、語彙指導は各学年の資料に理解に役立つ言葉、表現に役立つ言葉を設け、3年間で19のテーマについての言葉を多く確認できるような工夫がされております。めくっていただくと、1年生のところでの取り立てている語彙が分かると思います。3年間で19のテーマです。

続けて光村図書、1年生に参ります。光村図書、1年生の22ページを御覧ください。語彙指導は、まず物語文等を読むことの教材の中で、「言の葉ポケット」というコーナーを設けております。そちらは29ページを御覧ください。29ページの下に、この物語文を学んで、そこで出てきた言葉の、語彙を広げるための「言の葉ポケット」というコーナーを設けて、さらに表現に関連づけて、より多くの言葉を学べるようにしております。

続けて、267ページをお願いします。267ページに語彙ブックというふうに冊子になっているのがございますね。こちらが光村図書の特徴です。ここに複数の内容として、最終的に3年間で27の多種多様なテーマについて言葉を多く習得できる工夫がされております。3学年ともありますので、ぜひ御覧いただければと思います。

続きまして、2番の資料につきましては、そこに書いてあるとおり、今回QRコードというのが大変充実しております。東書ではQRコードは415用意されております。三省堂では500以上用意されております。教育出版では145、光村図書では350以上が用意されているところが特徴です。以上です。

○原田委員長   ありがとうございます。

それでは、推薦のための協議に入ります。まず、今の報告を受けて、委員の皆様から

質問等はございますでしょうか。

○山崎委員 伝え合う力を高めるためにどのような工夫がされているかということを教えてください。

○神田委員 ありがとうございます。伝え合う力につきましては、1の(2)の中の言語能力を育成するためにというところで、紹介をさせていただきます。

1の(2)の東書では、言語能力、伝え合う力を育成するために多様な個性を持ったキャラクターの案内で問題解決的な協働の学びが深められるような工夫がされております。

三省堂につきましては、全領域の教材において、つけたい力との関連を明確にして言語活動を取り上げております。また、社会生活における言語活動において活用できる工夫もされています。

教育出版では、教材名でも目標でも言語活動を明示して、さらに目標、学習活動の流れで学習の見通しを重点に示しながら、「学習の手引きみちしるべ」の自分の考えを伝え合おうで示されている学習課題は、授業での言語活動として取り組むことを盛り込んでおります。

光村図書では、学習を通して身に付ける、資質・能力を学びの鍵に明示しており、さらに思考や分析を深める話型や表現を「言の葉ポケット」で示し、適した表現を探す支援をしております。

以上です。

○山崎委員 ありがとうございます。

○原田委員長 そのほかに質問はありますでしょうか。はい、どうぞ。

○鈴木委員 日常生活とのつながりを考えさせるための工夫は何かありますでしょうか。

○神田委員 失礼します。選定資料のほうの4番の総括の2段目の「日常生活のつながり」について特徴をまとめてあります。

東書では、各学年末に現代社会の課題となるテーマについて多角的な視点から考えさせる教材「未来への扉」と設定しております。

三省堂では、各学年において現代的な課題に関わる教材、例えば1年は防災教育、金融教育等、2年、SDGs、3年、キャリア教育などや資料を取り上げております。

各学年の第1単元に話合いの方法を学習するグループディスカッションへ位置づけて、他教科も含めた、日常生活を含めた多様な場面で活用できるようにしております。

教育出版では、全学年に「持続可能な未来を創るために」を設置し、SDGsを国語科の視点で教材化しております。話すこと、聞くこと、書くことの教材のページでは、

「学びを生かす」という見出しの下、学習したことを活用する場面が例示されております。

光村では、SDGsを題材にし、3学年通して実生活に生きる情報活用能力を養う教材を新設しております。

以上です。

○**原田委員長** ありがとうございます。

それでは、推薦のための協議をしたいと思います。まず、観点に沿って、皆様からご意見をいただければと思うのですが、いかがでしょうか。

○**石塚委員** 子供の本離れが話題になっておりまして、うちの孫も全然本を読まないのですけれども、毎日ゲームばかりやっています。各教科書会社というのは、読書に親しむための工夫というのはどんなふうに行われているのか、ご紹介いただきたいと思います。

○**神田委員** ありがとうございます。読書については、各教科書会社も力を入れております。1番の(4)のところに示させていただいております。

東京書籍では、各学年ともに読書について複数箇所でもコーナーを設けており、多様な教材が、自ら本に手を伸ばす生徒を育てようとされております。教科書全体では422冊の図書を紹介しており、紹介コーナーや著名人による図書紹介コラムも設けられております。

三省堂では、作家自身に読書体験を語っていただき、読書の意義や効用についての理解を図っております。多様な読書活動を通して読書に親しむ習慣を形成することを目指しております。テーマに分けて283点の書籍を紹介し、多様な切り口で読書に取り組むことを目指しております。

教育出版では、近代文学作家の作品をビジュアルな解説とともに掲載されており、高等学校の学習で触れる作家にも親しむことができます。作者、筆者や教材のテーマなどに関する図書を3年間に334冊紹介しており、楽しみながら本に親しむことができる工夫をされております。

光村図書は、定番教材に加え、生徒から人気の高い作家の書き下ろしの教材が加わっております。また、47都道府県の推薦図書リストを参考に、447冊の図書を紹介しております。

以上です。

○**石塚委員** ありがとうございます。

○**原田委員長** 1号委員、保護者の立場から、いかがでしょうか。

○**小泉委員** 花田小学校PTA会長の小泉と申します。よろしくお願いします。

大変具体的に比較していただいて、分かりやすかったです。ありがとうございます。

私のほうで感じているのが、自主学習、中学生になると自主的にやはり勉強してほしいというのが保護者の意見なのですが、こういった自主学習をしやすいと感じたのは光村図書です。語彙ブックというのは、まとまって書いていらっしやったので、言葉が好きな子にとっては、自分から勉強しようかなという意欲が湧いてくると思ったので、そういう語彙とか、語彙以外にも何か自主学習の気持ちを育んでくれるような、何かそういった特徴があるのはどんなところかなという、ちょっとその点が気になったもので、教えていただけるとうれしいです。

○**神田委員** そうですね。例えば、東京書籍の13ページを御覧ください。東京書籍の13ページを御覧いただくと、教科書の使い方というふうに、この学習の流れを先生が説明するまでもなく、このように順次流れて見ることができます。

続いて、14ページに行きますと、同じように、自分で見通しを持ちながら学習するような工夫がされているというところは特徴的だと思います。

あと、実はQRコード、本当にたくさんあり、それこそ300個以上コンテンツがあったりします。その中にも練習問題であったり、古典の教科書を読んでいただいたりだとか、どういうふうに学ぶといいよとか、先ほどの最初の動画もそうですけれども、自分で楽しく学べるような工夫がされておりますので、ぜひ見比べていただきたいと思います。

以上です。

○**小泉委員** ありがとうございます。

○**原田委員長** ほかに何かありますでしょうか。

そろそろお時間となりますので、国語の協議は、ここまでといたします。7月12日は推薦のための投票を行います。投票の前に改めて協議の時間を取ります。委員の皆様におかれましては、今日の協議を参考にし、各自でもう一度考えていただき、投票に臨んでいただければと思います。

次に、書写の協議に入ります。

事務局より書写の選定観点を確認してください。

○**事務局** お願いします。資料3の3ページを御覧ください。

国語と同じく1、内容、2、資料、3、表記・表現、4、総括となっております。読み上げませんが、御覧ください。

以上となります。

○**原田委員長** では、書写部会長から報告をしてください。

○**神田委員** それでは、同じく東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書の順で教科書を表

に出していただきますと助かります。

こちらのほうは、実技の部分では本当にいろいろな工夫をされております。各者ともQRコードもございますので、そちらのほうもお伝えしながら、御覧いただきながらやりたいと思います。

まず、こちらにつきましては、1の内容の(1)、知識・技能のところ、そして思考・判断・表現のところ、そして資料のところについて重点を置いてお話をさせていただきたいと思います。

それでは、まず東京書籍の18ページを御覧ください。知識・技能の習得のための工夫ということで、書写の基礎的・基本的な知識・技能を習得させるために「書写のかぎ」というコーナーを設け、学習のポイントを示し、QRは太字で示しております。このような工夫がされております。

続けて、三省堂の24ページを御覧ください。同じく書写の基礎的・基本的な知識・技能を習得させるために「書き方を学ぼう」のコーナーを設け、例えば筆遣いについての解説を添えて示したりしております。

続けて、教育出版の29ページを御覧ください。同じく基本的知識・技能を習得させるために書くときのポイントのコーナーを学習の3段階目となる「生かそう」にあえて設け、学習のポイントを示す工夫をされております。

続けて、光村図書の44ページを御覧ください。同じく基本的な知識・技能を習得させるために「学びのカギ」のコーナーを設け、学びの下にありますね、学習のポイントを示し、筆の動きを写真つきで示しております。さらに、その隣に筆の動きが分かる動画のQRコードを載せております。

続けて、1の(2)、思考・判断・表現力を育成するためということで、まず東京書籍の39ページを御覧ください。目的や必要に応じてということで、文字を選んで効果的に書かせるために「生活に広げよう」というページが設けられております。学年に応じた内容になっており、年賀状の書き方、依頼用の手紙の書き方、インタビューのメモの取り方、ポスターやレポートの書き方などが取り上げられております。ここでは職場訪問をしようです。これを書写でも書き方を生かせるようにしております。

続けて、三省堂の28ページを御覧ください。同じく目的や必要に応じて文字を選んで効果的に書かせるために「書いて身につけよう」や「やってみよう」というページが設けられております。学年に応じた内容になっており、レポートの引用、グループ新聞の作り方、手紙の書き方、情報誌の作り方などが取り上げられております。

続けて、同じく三省堂の64ページも御覧ください。これが情報誌を作ろう。左側を見

ていただくと、完成の例がありますので、書写で生かしたものを、このように作ることが、工夫がされております。

続けて、教育出版を御覧ください。教育出版の1ページです。表紙裏です。目的や必要に応じて文字を選んで効果的に書かせるために、まずは俯瞰できる「目的に合わせて書こう」という、このページを設けております。また、「学校生活に生かして書く」であったり、さらに学習活動や日常生活に生かして書こうという単元のページも設けられていたりしております。学年に応じた内容になっており、レポート、本の帯やポップの書き方、新聞、ポスター、案内状の書き方などが取り上げられております。例えば32ページ、そのまま続けて御覧ください。ここでは学校生活に生かして書くということで、理科のレポートがあります。

続けて、光村図書の109ページを御覧ください。オレンジのページです。目的や必要に応じて文字を選んで効果的に書かせるために「日常に役立つ書式」という単元のページが設けられております。単元ですので、めくっていただくと、まとまってあるところです。学年に応じた内容になっており、手紙、はがき、送り状、通信文、入学願書、原稿用紙、レポートの書き方などが取り上げられています。さらに、「考えよう」のページでは、漫画を用いて日常生活とつなげて考えさせるようにしております。

続けて、資料のほうに参ります。2番の資料(1)です。東京書籍は、QRコードは21ページに掲載され、書写の学びを豊かにしております。後でQRコードをしますので、少々お待ちください。

三省堂では、QRコードは37ページ分、教育出版ではQRコードは41ページ分、光村図書はQRコードは42ページ分にまたがっております。

2番の資料(2)です。東京書籍では写真を使用しているのが35ページ分、三省堂では22ページ分、教育出版では68ページ分、光村図書では47ページ分、それぞれ写真があることで、学習を理解させる工夫をしております。

続けて、QRコードを見ていただくことになります。同じく2の資料、(2)です。毛筆する文字の脇、東京書籍の15ページを御覧ください。15ページの上にQRコードがありますので、ぜひ読み込んでいただきたいと思います。

東京書籍では、毛筆する文字の脇にはQRコードを配置して、書き方を音声付きの動画で説明しております。

続けて、三省堂のQRコードの工夫のところに参ります。三省堂の47ページは、左上にQRコードがございます。QRコードをお読み込みください。三省堂では、毛筆する文字の脇にはQRコードを配置し、書き方を動画で説明しております。音声はないので

すけれども、ちゃんとポイントが分かるように図示されておるのが特徴です。それでは、すみません。また、後で御覧ください。

続いて、教育出版のほうに参ります。教育出版の42ページを御覧ください。42ページは、右下にQRコードがございますので、行書の筆遣いについて読み込んでいただければと思います。教育出版も毛筆する文字の脇にはQRコードを配置し、書き方を動画で説明しております。

では最後に、光村図書に参ります。光村図書は57ページを御覧ください。縦向きにさせていただき、まず上の動画ですね、縦向きにしますと、左下の動画と書いてあるほうを先に読み込んでいただきたいと思います。光村図書では、毛筆する文字の脇にはQRコードを配置し、書き方を動画つきの音声で説明しております。御覧になった方は、もう一つ、右下にもほかの文字がもう一つあります。

光村図書の特徴としましては、右下に他の文字にもチャレンジしようと、ここで学んだ文字をほかの文字で、また筆の運筆等が学べるような、QRコードで動画が入っているのが特徴です。

以上です。

○**原田委員長** ありがとうございます。

それでは、推薦のための協議に入りますが、何か質問はありませんか。はい、どうぞ。

○**生方委員** 失礼します。現代の子供たちは、スマートフォンやタブレットの入力にすごく慣れていて、手書きの機会が減っているように思いますけれども、その意義や意味について取扱い等はございますでしょうか。

○**神田委員** ありがとうございます。手書きの意義や意味につきまして、まず東京書籍の1ページを御覧ください。東京書籍、開いたところです。文字を書くって何だろうというふうに、ここでノートをもっと早く取れるとよいであったり、手で書いて覚えることも大切であったりとか、左上の手書きだとアイデアがどんどん広がるであるとか、例えば右下、書いていくうちに会いたくなかったあの子の声が聞こえてくるようだとか、あと「毛筆はインパクトがあるよね」であるとか、その手書きの意義・意味が、このように工夫して示されております。

続けて、三省堂を御覧ください。三省堂の68ページです。ここでは身の回りの文字ということで、この1行目ですね、まさに文字には言葉を伝える役割がありますということで、このように手書き文字のいろいろな場面を示されながら、その意義等が示されております。

これは続けて70ページ、71ページに、また行っていただきますと、同じように、さら

に他の角度からの意義等が書かれているページもございます。工夫もされております。

続けて、教育出版です。先ほどの1ページですね、表の。表紙の裏です。目的に合わせて書こうで、ここでも今の意義、例えばオレンジ、白抜きのところがそうです。感謝の気持ちを伝えたい、読みやすく、早く書きたい、学習内容を読みやすくまとめたい、みんなの気持ちを1つにしたい、多くの人に知らせたい、学習したことを生かして書きたい、このような各目的、意義等が示される工夫がされております。

光村図書では、88ページを御覧ください。ここでは漫画を使いながら、まさに手書きのよさって何だろうということについて、話し合っている工夫がされております。

以上です。

○**原田委員長** ほかに質問はありますでしょうか。

〔発言する者なし〕

○**原田委員長** それでは、協議をしたいと思います。観点に沿ってご意見があればお伺いしたいのですけれども、いかがでしょうか。石塚委員、お願いいたします。

○**石塚委員** 中学校に入って行書を学ぶと思うのですけれども、なかなかふだん目にしたり、書いたりしないと思うので、なかなか慣れないと思います。中学生が抵抗感をなくす工夫がありましたら、教えていただけるとありがたい。

○**神田委員** 毛筆、行書も含めて抵抗感を持たせない工夫という点で、お話をさせていただきます。

まず、東京書籍では、72ページを御覧ください。いろいろな文字のところですが、キャラクターが、こういうふうに話をしながら、自分の気持ちだったり、問題提起であったり、その書いていくことのよさとか、ものが書かれております。

そのままめくっていただいて、74、75ページでも、このイラスト、キャラクターが、いろいろな場面を切り取りながら、文字に対して、そして身の回りの文字がまたトピック化され、その中にも当然行書はありますよね。これをポップな形で、抵抗感を下げる工夫をしております。

続けて、三省堂の57ページを御覧ください。ここでは行書に調和する仮名ということで、この左下のところのキャラクターを同じく使いながら、この「ふ」の最後の部分が次の「る」につながって、うねうねであったり、このキャラクターの言葉だったり、子供たちの抵抗感を下げながら、そのようにすればよいのかというふうに学習に取りかかりやすいような工夫が随所でされております。

また、教育出版に参ります。教育出版の28ページを御覧ください。こちらと同じように、この行書のつながりについて、真ん中にキャラクターがいますね。このキャラクタ

一が「筆脈を意識して書いてみよう」であるとか、いろいろな場面で、このキャラクターが登場して抵抗感を下げながら、子供たちが学習に迎えるような工夫をしております。

最後、光村図書、54ページを御覧ください。光村図書のほうでも、この右下のキャラクターが出てきておりまして、「終筆の形はどの方向に向かって変化してきているのだろうか」とか、キャラクターをその都度登場させながら、子供たちの抵抗感を下げて、また子供たちの心の思いであったり、言語化されて、子供たちに寄り添いながらやれたりするような工夫もされております。

以上です。

○石塚委員 ありがとうございます。

○原田委員長 1号委員、お願いします。

○田部井委員 中央中学校PTA会長の田部井です。中学校に入ると、自分の名前を行書で書きたいという感じで、行書ではどういうふうにかくのだろうと調べていたんですけど、それぞれの興味ある文字を行書で書けるような工夫はあるのでしょうか。

○神田委員 今回の書写のほうでは、やはり毛筆と硬筆を関連づけながら、筆の運び等を学ばせていく工夫が大事になっております。東京書籍の26ページを御覧ください。こちらを見ていただくと分かるとおり、毛筆指導だけでなく、それがまた硬筆指導に生かしていくための筆の運び、基本の点画の書き方では楷書を用いて、読みやすく、早く書く場合には、また行書を用いて、この筆の運びが詳しく分かるような工夫がされております。

続けて、三省堂の4ページを御覧ください。三省堂のほうでも毛筆だけでなく、毛筆から硬筆、当然両方とも行書も含めてですけれども、そちらにも生かしていけるように各単元での構成が、この毛筆でのポイントを示して、それを例えば⑥の硬筆に繰り返して確かにするというように同じ行書でも筆の運び、毛筆で学んだことが硬筆のほうでも生かせるような工夫がされております。

続けて、教育出版を御覧ください。教育出版の20ページです。教育出版の20ページでも、やはり毛筆の指導、例は楷書ですけれども、行書も同じようになっております。この単元の中で試し書き、そしてまとめ書きのほうで、また硬筆という流れに、硬筆、そしてまた毛筆で学び、それがまたまとめ書き、下のところで再度硬筆で生かされていくような、行書のほうでも、このような流れで学べるような工夫がされております。

光村図書を御覧ください。最後は光村図書の58ページです。こちらのほうでも毛筆での指導、まさにここは行書ですけれども、硬筆でもできるように生かそうという、左側③のコーナーを設けて、両方とも円滑に学べるような工夫がされております。

以上です。

○原田委員長 よろしいでしょうか。

○田部井委員 はい。

○原田委員長 ありがとうございます。

お時間になりましたので、書写の協議は、ここまでといたします。7月12日は推薦のための投票を行います。投票の前に改めて協議の時間を取りますので、委員の皆様におかれましては、今日の協議を参考にし、各自でもう一度考えていただき、投票に臨んでいただきたいと思います。

では、次に移る前に教科書の入替えをいたします。

では、続いて数学に移ります。

事務局より選定観点を確認してください。

○事務局 資料3の15ページを御覧ください。数学も同様に、1、内容、2、資料、3、表記・表現、4、総括の4つの大きな項目がございます。読み上げませんが、ご確認ください。

以上でございます。

○原田委員長 では、数学部会長から報告をしてください。

○萩原委員 それでは、報告させていただきます。

初めに、数学科に関しましては、系統性がとても重要な教科になっております。どの教科書会社におかれましても、振り返りながら、つまりいたら戻って、またつまりいたら戻ってという工夫がされております。

なお、国語科でも紹介されましたデジタルコンテンツに関しましては、あくまでも補助教材という形で扱っているところがあります。どの教科書会社もQRコードをたくさん貼り付けて補助的な活用をしているところです。

最後に、日常的なつながりにつきましても身近な題材を取り上げてというところは、7つの教科書会社さん、どちらも非常に意識された教科書になっております。

それでは、全て読み上げていたら時間がないので、東京書籍からかいつまんで報告させていただきます。

主に1番の知識・技能のところについて申し上げます。まず、(1)につきましては、ハートマーク、あるいは(2)については、虫メガネマークというようなマークをつけて、子供たちに意識をさせる工夫をしております。

具体的に4番、問題発見、解決の過程を重視した数学的活動を紙面化しというところで、1年生の83、84ページを御覧ください。このように深い学びというページを設定し

て、右側のところで、どのような学習活動をするか、問題をつかむ、見通しを立てる、問題を解決するというふうに学習の過程を明示した構成をつくっております。子供がどのような学習活動をしているかが意識できる構成になっております。

続きまして、大日本図書です。こちら「確かめよう」、「伝えよう」などのマークをはっきりつけて、子供たちがどのような学習活動をしているかが分かる工夫をしています。1番の(4)、数学的活動に関してですが、各単元において「問題を見出そう」から「深めよう」というページを設定して、身の回りの問題を数学で解決させる工夫をしています。

59ページを御覧ください。このように、こちら右側のところに「問題を見出そう」から始まって、次のページの「深めよう」まで、どのような思考過程で問題に取り組むかというのが分かるような工夫をしています。

続きまして、学校図書です。最初に申し上げたように自習事項を振り返りながら学習を進める、そのような構成になっています。数学的な活動に関しましては後ろになります。276、277ページを御覧ください。こちらで「見方・考え方」という大きなタイトルをつけ、日常生活における事象を数的に捉え、数的に考える資質、能力を育成するようにしています。学習内容とともに、まとめができるようになっています。

続きまして、教育出版を御覧ください。同じく例、問いを設定しているのですが、その間に「確かめ」という問題があり、そのステップで学習を進めることができるようになっています。

数学的活動に関しましては61ページをお開きください。先ほどから申し上げているように右側のところに学びのプロセスという見出しがついていて、自分が今どのような学習過程をしているのかというのが分かるようになっています。題材についても、日常生活の中の事象を数的に捉え、問題を発見して、それを解決する過程を通して数的に考える資質・能力を工夫しています。

続きまして、啓林館を御覧ください。こちら「学びを確かめよう」、あるいは「説明しよう」、「広げよう」、「話し合おう」、「まとめよう」など、生徒がどのような学習過程をするかが意識できるような工夫をしています。

248ページを御覧ください。こちらの章末で、「学びを振り返ろう」ということで、学習内容を活用して解決できる実生活に即した問題として、生徒がイメージしやすく、扱いやすい設定になっています。

続きまして、数研出版を御覧ください。こちらは章の初めに「ふりかえり」というページを設定して、その単元に必要な既習事項の解説と例題が設定されています。数学的

活動に関しましては、54ページ、「やってみよう」ということで、興味深い題材を取り上げ、72ページ、下のほうで、今度は「調べよう」ということで、探究的な興味深い内容に触れ、主体的に取り組めるような設定構成をしています。

最後になります。日本文教出版です。これも同じく章の初めに関連する既習事項の確認問題を設定しています。数学的な活動に関しましては、12、13ページを御覧ください。身近な事柄から数学の問題を見出す過程が使われています。数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を身につけるための工夫がされています。

以上、内容の知識・技能のところと、あとは数学的活動のところをかいつまんて取り上げましたが、最初に申し上げましたとおり、どの教科書会社においても系統性、あるいは自分で学習、振り返りながらできる、あるいは今、自分がどのような学習過程にいるのか、そういうのが分かりやすい工夫がされているというのが、今回研究したところになります。

以上で調査報告とさせていただきます。よろしくお願いします。

○**原田委員長** どうもありがとうございます。

それでは、推薦のための協議に入ります。まず、今の報告を受けて、委員の皆様から質問等ございましたらお願いいたします。はい、どうぞ。

○**伊藤委員** 先ほど見方・考え方について紹介された会社もあったのですが、数学的な見方・考え方を働かせるために各会社はどのような工夫がされているかというところを教えていただければと思います。

○**萩原委員** 報告書でいうと1番の(2)、それと今報告させていただいた1番の(4)、この辺りが数学的な見方・考え方を働かせる、関連する部分かなと思います。

また、最初から申し上げているとおり、日常生活とのつながりを意識させることで、より数学的な見方・考え方に触れる、あるいはそれを意識するという部分を各教科書会社はされているというふうに思います。

以上です。

○**原田委員長** ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。はい、どうぞ。

○**神田委員** 全国的に課題となっております、数学的な表現を用いた理由の説明をする力を培うための工夫があれば教えてください。

○**萩原委員** 今のとかぶってしまうかもしれませんが、1番、内容の(2)、思考・判断・表現における表現のところ、今までは1番の知識や技能を身に付けることに主眼を置いていたのですが、それをどう表現するかというのが最近取り沙汰されておりますので、数学的な見方・考え方プラス表現というところは、報告書の中にも教科書会社が意

識しているというのは書いてありますので、そちらをお読みいただければと思います。  
以上です。

○原田委員長 ありがとうございます。はい、どうぞ。

○石塚委員 数学に限らないわけですが、課題解決学習、問題解決学習というのが非常に重要視されておりますけれども、それらについて学校での取組とか、教科書の工夫がされているかについて、ご説明いただければと思います。

○萩原委員 各章の最初の問題を見ていただくと分かるとおり、日常生活に関連している課題をまず設定して、その中から子供たちが課題をきちんと把握するような工夫というのが、どの教科書会社もされているかと思います。一時期のように教員が問題を出して、それを解かせて説明するという形ではなく、子供たちがそれぞれ自分の問題として捉えるというところを意識した授業が今展開されているのかなというふうには思います。

○石塚委員 ありがとうございます。

○原田委員長 では、1号委員さんはいかがでしょう。

○小泉委員 ありがとうございます。皆さんおっしゃるとおり、数学はいかに日常生活に生かす力が大事だと思うので、数学的思考を日常生活に結び付けるという力を育てただけでいるということで、保護者として、とても安心しております。

あとは、今は価値観の多様化というのもありますし、数学は答えが1つだと思うのですけれども、その1つにたどり着くための視点というのは、いろいろな見方があると思うので、そういった答えにたどり着く前の過程というの、お互いの意見を尊重するという、数学的な考えではないかもしれないのですけれども、そういったところも尊重してくださるような授業展開ですとか、ちょっとそういった教科書なんかの見方というのもあるかなというところを教えていただければと思います。

○萩原委員 教科書会社の工夫としましては、多くの教科書会社さんが男の子と女の子の会話、あるいはそこに教員がヒントを出したりとか、〇〇君はこういう考え、〇〇さんはこういう考えみたいな引き出しをもって、いろいろな考え方で問題解決に当たるのだよというアドバイスをしたりする工夫は、各教科書会社で見られると思います。

授業の中では、話し合い活動を多く取り入れて、小集団、グループ活動の中で、それぞれが意見を出し合って、グループの意見としてまとめるというような授業展開が、最近の数学の授業では多いのかなというふうに捉えています。

○小泉委員 ありがとうございます。

○原田委員長 協議のための参考資料としましては、各学校からの調査研究報告とか、あるいは来場者へのアンケートなどもありますので、こちらのほうも見ていただきながら

進めたいと思います。時間に余裕がありますけれども、質問などは大丈夫ですか。

○萩原委員 補足として、先ほども申し上げたのですが、国語の教科書でも話題になっていた、子供が自分でどうやって教科書を使って勉強していくかというところは、最初に申し上げたとおり振り返り、あるいはつまずいたら、どこに戻ればいいのかというのが、どの教科書会社も分かりやすく工夫されているかなというふうに思いますので、子供が自分で自主学習を進めるのも非常に自主学習をしやすい、そのような構成になっているというのは、どの教科書会社も感じました。

以上です。

○原田委員長 ありがとうございます。

では、数学の協議は、ここまでといたします。7月12日は推薦のための投票を行います。投票の前に改めて協議の時間を設けます。委員の皆様におかれましては、今日の協議を参考にし、各自でもう一度考えていただき、投票に臨んでいただきたいと思います。

では、ここで教科書の入替えを行います。

○原田委員長 では、続きまして理科に移ります。

事務局より選定観点を確認してください。

○事務局 お願いいたします。資料3、17ページを御覧ください。理科も同様に大きな4つの項目がございます。読み上げませんが、ご確認ください。

以上です。

○原田委員長 では、理科部会長から報告をお願いします。

○石山委員 それでは、説明します。お手元の報告書等を御覧いただければと思います。

各者とも特徴的な部分につきまして、1年生の教科書、該当ページを挙げながら、1社ずつ説明をさせていただきます。

初めに、東京書籍です。内容について、各単元に随所に既習事項が示されています。例えば127ページのようにQRコード、これは各者ともありますけれども、活用したデジタルコンテンツで学習内容やまとめの問題を示しているところです。

実験、観察では、巻頭の3ページをご覧ください。「探究の流れを確認しよう」で、学習の流れが示されています。また、80ページ、81ページのようにクエスチョンマーク、はてなマークで課題が提起されて、エクスクラメーションマーク、びっくりマークで課題に対する自分自身の考えを促される、そういう形になっています。さらに、学びを生かして考えようでは、まとめの内容を生かした課題設定をすることで、思考力や表現力を育成する取組が見られます。

次に、資料等についてですが、各ページ下に見られる学習進行具合を示すチャートの

ようなものが、まずあります。

また、132ページのような学習内容の整理もよくまとまっていて、大変シンプルであります。見やすいものとなっています。

表記・表現で特徴的なこととしましては、例えば64ページ、学習内容の整理に見られるように、あえて全ての漢字に振り仮名が振られていて、どのような生徒でも読みやすい工夫がなされております。

次に、他教科で学習する理科と関連深い内容等につきましては、例えば62ページのように何々で学ぶことという形で、分かりやすく示されています。

そして、90ページ及び99、100ページ辺りを御覧ください。子供たちの日常生活や他分野との関連付け、様々なコラムが掲載されて、生徒の興味、関心をかき立てるとともに、理科を学ぶ意義、重要性を実感できる工夫がございます。

以上で東京書籍を終わります。

次に、大日本図書をお願いします。内容につきましては、各単元随所に既習事項が示されていること、章末や単元末で疑問事項を確認できるとともに、観察や実験の基本操作についてQRコードを使用したデジタルコンテンツを動画で確認することができます。

23ページを御覧ください。23ページ、「問題を見つけよう」、また、36ページやってみよう」などの主体に学習を引き出す工夫があります。

次に、生徒に学習の見通しを持たせる点では、4ページ、5ページの「理科の学習の進め方」、また逆に巻末になりますが、268、269ページに「探究の進め方」がございます。それぞれ生徒が見通しを持って学習を進められるという工夫がございます。

次に、71ページを御覧ください。「つながるサイエンスプレス」と題したコラムがございます。例えば135ページにあるのですけれども、学習内容と他教科や生徒の日常生活がリンクされる内容が示されています。これによって生徒の関心や意欲を引き出す工夫がなされております。

次に、資料等の工夫です。様々なアイコンを活用して学習段階を確認しながら進めることができます。単元末のまとめの内容につきましては130ページ、131ページのようにチェックリスト化されておまして、理解度を生徒自身が視覚化しやすい工夫が見られます。

次に、実験に用いる実験器具の解説等は、78ページを御覧ください。これは、その単元の傾向なのですけれども、各単元の冒頭にまとめられる形で実験器具の解説がございます。

次に、小学校教科書との相違点等なのですけれども、115ページ、116ページ、これは

課題がわかりやすく示されていると思います。ただし、その次のまとめは、一見して分かる見出し等がなく、内容をよく読んでいくという必要がある内容になっています。この辺は小学校からちょっと一段上がった感じかなというふうに思ったところです。

次に、学校図書をお願いします。まず、内容では、同じく単元の随所に既習事項が示され、単元末にまとめの用語の確認や基本問題が載せられていること。また、各ページの右上、QRコードが多数載せられていて、単元内容の解説が見られるという点も他の教科書会社とほぼ共通になっています。

巻頭の2ページを御覧ください。「なぜ理科を学ぶの」というページ、続く4ページから6ページ、「理路整然」というページがございます。この辺りで理科を学ぶ意義、探究を中心にした気づき、課題設定から考察までの進め方が示されています。実際にこの探究の一連の過程が、それぞれこの後の各実験のページでも共通のラインと矢印で示されています。そういうことから、特に探究に特化したというふうに感じられる工夫がございます。

次に、51ページを御覧ください。実験の方法は、文章と画像で示されています。方法、結果、考察のポイントは、強調されて分かりやすくされている、そういう工夫がございます。

54ページをお願いします。結果や考察は、文章とともに上の表も使って、同ページ下の「探究を極める」という欄で、考察した内容から、さらに思考力や表現の育成につなげていこうとする、そういう工夫が見られます。

次に、資料等につきましては、45ページ、ここは単元の初めになりますが、キャン・ドゥー・リストがあります。その単元で何ができるようになるのか、学習の見通しを立てやすくしております。

画像につきましては、表紙の裏、大きな画像があると思います。あるいは46、47ページのように今回の5者では、最も大きな学習内容の関連画像が載せられているのも特徴になるかと思います。画像のついた実験器具の解説等は212ページのように巻末にまとめて設けられております。いわゆる資料集的な扱い方ができるかなと思いました。

表記・表現では、全体的にユニバーサルデザインの視点を取り入れており、フォントや画像以外のページの色使い、レイアウトなどに配慮が見られます。

では次に、教育出版をお願いします。各単元の初めに文書とともにQRコードからデジタルコンテンツで既習事項を確認する形で、多くの会社さんと同じような形かなと思います。

巻頭の4ページの「探究の進め方」を御覧ください。ここで疑問、あるいは課題設定

から考察、結論までの流れが示されています。

続く5ページからの「探究の進め方」で、今度は具体例が示されていることになりま  
す。さらに進みまして、1ページより巻頭のほうですけれども、レポートの書き方も示  
されて、探究の方法を把握させようとする工夫が見られるところです。

各実験では、まず77ページのように、その実験で初めて使う器具の取扱いが示されて  
います。実験中に注意すべきことについては、78ページのように黄色三角のエクスクラ  
メーションマーク、びっくりマークで注意のアイコン、そして赤文字で「メモリーの工  
夫を通じて事故防止に役立っているかな」とあります。

さらに、82ページ、「やってみよう」、89ページの「活用しよう」、あるいは111ページ、  
「チャレンジ」などの内容で探究的な課題が示されています。生徒が主体に学習に取り  
組む姿勢を生かそうとする工夫かなと感じました。

次に、資料、表記・表現ですが、実験における課題、結論が、特に大きく目立つよう  
に工夫をされています。また、他者に比較してフォントのサイズが大きくて、字の配置  
にも余裕があるということが感じられるかと思います。恐らく小学校からの移行に無理  
がないような配慮かなというふうに思いました。

他教科では、日常生活との関連です。113ページ、「ハローサイエンス」のコラムを御  
覧ください。学習内容と日常生活や実生活で生かされている技術、環境保全の取組など  
とリンクさせて生徒の意識を高めていこうとする配慮が見られます。

最後に、106ページのように理科としては、計算方法等の算数、数学に関連した、かな  
り丁寧な解説、説明が載せられているところも特徴かなと感じました。

最後に、啓林館をお願いします。まず、内容では、各章の随所に既習事項が示されて  
いるようにQRコードによるデジタルコンテンツで重要事項等も確認することができま  
す。器具の使い方、安全面についての注意、事故防止等は、例えば10ページのように各  
章の冒頭部分でまとめられて載せているところです。

ちょっと戻りまして、冒頭のほうですが、7ページ、ICTの活用というページがご  
ざいます。実験、観察における探究のためのICTの活用方法が独立して示されてお  
ります。これは他者にはない取組になっています。

特に探究的な内容につきましては、139ページのように探究実験として取り上げられて、  
巻末につけられた探究シートを利用して主体的な学習の姿勢を引き出し、思考力や表現  
力をつける特徴的な取組になっております。なかなか情報量が多く、内容を把握するの  
は大変ですけれども、探究的な内容としては、よくできているかなと感じました。

次に、22ページを御覧ください。様々なキャラクターが活躍するのは、各者一緒です

けれども、特にキャラクターの発言が、理科の見方・考え方を踏まえたことになっています。生徒が自発的に理科の見方・考え方を身につけられるように図られたものと感じました。

次に、資料等では、例えば146ページ、あるいは166ページを御覧ください。計算場面をととても詳しく取り扱っております。また、直下に練習問題を載せているというところもございます。3年生の内容では、計算の解説まで載せているところもあって、独特のアカデミックさを感じさせます。

最後に、他分野、他教科との関連では、108ページの「お仕事ラボ」、117ページには「料理ラボ」、184ページには「部活ラボ」といった様々なコラム欄がございまして、学習内容の関連性や誘導性を示しております。

また、先ほど出た146ページでは、算数、数学とも関連として示されている計算の解説も載っています。

以上で終わります。

○原田委員長 ありがとうございます。

それでは、推薦のための協議に入ります。今の報告を受けて、委員の皆様から質問等ございますでしょうか。お願いします。

○木野内委員 理科のほうでは、SDGsのほうの関連が高いと思うのですけれども、こちら辺で各教科、どのような取扱いがあるかというのを詳しく教えてください。

○石山委員 SDGsについては、各者でそれぞれ取り扱っている部分はあるのですけれども、これは特に時間もございますので、例えば学校図書、冒頭を御覧いただくと、目次、インデックス、3ページの目次のところに各章の扉にはSDGsとの関連の一例をマークで示しています。この後ろのほうにSDGsの本文の内容はあるのですけれども、それぞれ理科の内容は関わりが大きいのです、それが分かりやすく示されている一例、これをはじめとして各者ございます。御覧いただければと思います。

○原田委員長 ありがとうございます。

そのほかありますか。はい、どうぞ。

○石塚委員 最近というか、気になるのは、理科の実験の事故なのです。各学校でも、その防止のために研修等踏まえて、できるだけ防止するよう進めていると思うのですが、それぞれ各教科書会社においてもそれぞれ工夫しているか、さらに説明していただければ私たちとすれば安心するのですけれども、お願いいたします。

○石山委員 理科の実験で、確かに事故が取り上げられるニュースが多くてご心配をおかけしているところかなと思いますし、私たち教師も教科書会社のほうも当然その辺配慮

しているというのが、実際当たり前なのかなというふうに思っているところです。

先ほどもちょっと触れた部分もあるのですが、各者でちょっとページを挙げさせていただきます。例えば東京書籍の95ページを御覧ください。実際の実験の内容で、アイコンで注意、事故防止につながるが赤字とアイコンで示されているというふうな取組がされております。

次に、大日本図書79ページを御覧ください。こちらは実験のページではなくて、実験器具の使い方のページなのですが、この中にまとまって注意として黄色で入っているもので注意点が示されているというふうな工夫がございます。

次に、学校図書210ページを御覧ください。こちらも用具の使い方のページではありませんけれども、使い方を誤ると事故につながる部分がありますので、その際の注意については赤字で、枠が黄緑色で、赤字で書かれている注意がなされております。

それから、教育出版91ページ、これも実際の学習に入る、実験に入る前のイントロなのですが、ここでは先ほど申し上げました、三角のびっくりマークみたいなアイコン等に赤字で実際にやってはいけないこと、要注意がなされているのが分かるかと思います。

最後に、啓林館、140ページを御覧ください。こちら先ほどご説明した探究実験の内容ですが、やはりびっくりマークのようなアイコンと赤字で事故防止が示されるのかなと思います。

以上でございます。

○**原田委員長** ありがとうございます。

協議に入ります。1号委員さんからご質問があればお願いいたします。

○**小泉委員** 理科って貴重な体験学習ができる教科だと思っていて、実験も含め、観察などもすごく貴重だなと思っていて、できるだけ自分の子供もそうですし、いろいろな友達に、そういう体験をさせてあげたいと思っているのですけれども、まず様々な理由で、そういう参加できない子というのが少なからずいるとは思っているのですけれども、そういった子に対しても何かフォローアップするとか、そういったものが見られるのかなというところをお聞きしたいのですけれども、いかがでしょうか。

○**石山委員** ちょっと難しいご質問かと思いますが、資料の中の1番、内容の(5)、例えば日常生活や他教科との関連を図るための工夫というところが、各者では工夫されている内容に出てまいります。

ここの内容などは、やはり一般的な読み物として読んでいても、興味を引かれる部分が多いのではないかなと。単に理科の学習ではなくて、日常生活との関連であったり、

生徒たちの心の人生経験でありそんなことと理科の関連が示されていたりするコラムが  
ございますので、そういったところが一番楽しめるのかなというふうに思っております。  
取っかかりにはなるかと思っています。

○小泉委員 例えば実験の内容を動画で見られるという工夫というのはありますか。

○石山委員 ちょっとどれがというのは、すぐは出せないですが、QRコードの中で実際に実験をやっている場面というのはたくさんありまして、御覧いただければ理解できる  
のではないかなと。今すぐできる、タブレット端末を持ち帰って、家で、これで映せば見られるというのは、多分各者あると思います。

○小泉委員 ありがとうございます

○原田委員長 ありがとうございます。

では、お時間になりますので、理科の協議は、ここまでといたします。7月9日は推薦のための投票を行います。投票の前に改めて協議の時間を取ります。委員の皆様におかれましても、今日の協議を参考にし、各自でもう一度考えていただき、投票に臨んで  
いただきたいと思います。

それでは、ただいまより10分間の休憩とさせていただきます。再開は3時15分といたしますので、よろしくお願いいたします。

〔休 憩〕

○原田委員長 では、時間になりましたので、再開いたします。

続いて、美術に移ります。事務局より選定観点を確認してください。

○事務局 資料3の23ページを御覧ください。美術も同様に4つの大きな項目がございます。読み上げませんが、確認をお願いします。

以上でございます。

○原田委員長 では、美術部会長から報告をお願いします。

○岡村委員 よろしく申し上げます。教科書のそれぞれの1、2年生の教科書を参考にしたいと思っておりますので、開隆堂の10ページ、それからこちらの光村の16ページ、日文の12ページ、それぞれ同じ題材、スケッチの題材で比べながら説明したいと思っております。

それでは、説明させていただきます。初めに、観点1の内容についてです。開隆堂については、全題材で知識・技能の項目が分かりやすくイメージされています。左上の題材の右側にある3観点です。美術の用語として、囲み枠で専門用語の説明があります。赤の見開きのところをちょっと御覧ください。このところに美術の用語というのがそれぞれあります。これは開隆堂だけ知識の部分で書いているのが特徴です。ところどころに、そういう知識の専門的な用語が書かれています。美術の用語としての囲みがあり、

専門用語の説明があり、知識を深めることができます。

2については、ほとんどの題材が開隆堂は4ページになっています。ほかの教科書は2ページが題材です。導入から振り返りまでの流れが明瞭で分かりやすいです。発想の段階や構想を練るときに、どこを見ればよいか分かりやすいです。

3については、多くの題材で、その題材に関わるSDGsに関する取組が紹介されています。学んでいることを実生活に結び付けて考えさせる内容になっています。例えば開隆堂ですと、25ページ、右下にあります。このようにSDGsのコーナーが随所にあります。これも開隆堂だけの特徴です。

4については、鑑賞のページ、開隆堂ですけれども、発想・構想のページや、それから鑑賞のページ、知識・技能がページごとに整理されており、学習を進めていく上で分かりやすい構成になっています。開隆堂のスケッチブックを見ると、発想・構想、次のページが知識・技能、鑑賞になります。ここの知識・技能が入っているのは開隆堂だけです。

次に、光村についてです。1については、全題材で同様に形や色彩の美術に関する視点や技能の目標が記載されています。これも題材の右側ですね、3観点が書いてあります。開隆堂と違うところは、マークで書いてあるところです。開隆堂は、知識、思考力・判断、学びと漢字で書いてありますけれども、マークで書いてあります。それから、その下にポイントの囲み枠で形や色、材料など着眼してほしい視点を強化しています。これは光村だけです。ポイントが書いてあるのは光村だけです。

(2)について、右側の17ページです。生徒の作品の紹介や作者の言葉として、作者の発想の仕方や考え方の工夫が紹介されています。これは光村の特徴です。生徒が実際に表現したものを、なぜそういうふうに表現したのかを紹介しています。これはQRコードでインタビューが動画になって流れています。これは光村です。

(3)についてです。各題材に関連した絵で活動している作家の作品のコメントが掲載されており、実生活や社会とのつながりを生徒に感じさせる内容になっています。

4については、各題材の最初に鑑賞の作品とともに問いかけがあり、問いかけというのは、鑑賞の右側に書いてありますね、様々な中学生の作品を鑑賞して表現の工夫を感じ取ろうという課題が問いかけになるのですが、これをイラストの書き出しとともに、自ら問題意識を持って取り組めるような工夫になっています。

日文についてです。1については、同様に情景的な見方や豊かな視点や技能を生かす目標が記述されています。これも他者と同じで三角形のマークになっています。

日文の特徴です。造形的な視点というのが右側に入っていますが、その作品の制作や

工夫、見方や感じ方を深めるために着眼してほしい視点が表記されております。これが知識・技能のところになります。

(2) については、表現のヒント、その2段目にありますね。表現のヒントというところがありまして、これは発想・構想に関わるヒントということで、表現の工夫が分かりやすく載せてあります。

(3) についてです。漫画などやCM制作、震災などについての作品や実生活で使われている作品が選ばれており、美術が生活や社会で深く関わっていることが実感できます。

4 については、題材の最初に左、12ページの最初のところですね、題材の下、鑑賞の入り口、それからここで興味・関心の考え方を示す短い問いかけで始まり、右側の造形的な視点、それから表現のヒントというふうに3つの流れで授業が進められています。

次に、調査2の資料についてです。開隆堂については、制作上のポイントや発想の手だてを共通のマークで整理し、各ページに掲載することで発想を深めることができます。

開隆堂はQRコードのほうで載せてありますので、そちらについても詳しく書いてあります。

それから、開隆堂の特徴ですけれども、ほかの教科書は巻末に全部あるのですけれども、21ページの下、このように開隆堂は、ところどころにその題材に関わる知識・技能がページ内にあります。

光村についてです。光村は、これは2が特徴ですので、この2年、3年の教科書の真ん中を開きますと、和紙が入っているのです。和紙ではないのですけれども、和紙に近い風合いの用紙を使用し、触感から学習意欲を引き出す工夫がされています。

(2) については、資料が別冊になっています。こちら別冊になっているのが、この光村だけです。別冊になっていて、これに全て3年間の知識・技能が含まれているということです。最初の2ページ、3ページを見ると、全部にQRコードがついているのですけれども、QRコードでも全部確認ができます。この光村の特徴は、資料集を買わなくて済むのです。美術は資料集を買う学校が多いのですけれども、これを教科書に資料集のような資料がついてくるということになります。

それから、日文についてです。日文は巻末です。巻末の学びを支える資料では、58ページから巻末になっていますけれども、発想・構想の手だてや、どんなときに描きたいかなど、表現に関する資料というものが工夫されております。

日文の特徴は、全単元で導入にQRコンテンツが入っています。それを使うと、子供たちがどういう題材についての学習をすればよいかということが大体分かるという工夫

がされています。

(2) については、統一したマークを用いて注意すべき点、びっくりマークとかが説明されています。

続いて、調査の観点、3、表記・表現についてです。開隆堂の一番の特徴は、この表紙です。表紙に凸凹があって、触感で楽しむこと、こちらのひまわりの表紙ですがけれども、こちら、1はタイル感こちらは油絵のぶつぶつ感があり、これがすごく特徴的です。

それから、表記の面で、題材の下に副題があります。これも開隆堂だけなのですがけれども、子供たち、生徒に心に響く表現になっています。また、キャラクターが出てきて呼びかけていますが、これは動画のほうで出てきますが、これも開隆堂の特徴になっています。

光村についてです。光村の表記に関しては、学習イメージがしやすいように生徒が関心・意欲を高める工夫が表現・鑑賞の領域ということで表記されています。

それから、観音開き、どの教科書も観音開きがあるのですが、光村の場合は迫力がすごくあります。この立体との関連で平面につながるのですが、ちょっと他者とは違った迫力の大きさは、すごくインパクトがあります。

日文についてですが、日文は、この表紙を開くと、表と裏がつながっているのですね、1も2も3も。1も2も3も開くとつながるのです。こういう工夫があります。

それから、この作品が巻頭ページにちゃんと紹介されているのです。つながっているのです。それが教科書のテーマになります。これは3冊あります。3冊は、ほかは2と3が一緒なのですが、1年、2年、3年と学年ごとに分かれているのが、これは日文の特徴になっています。

最後に、観点4、総括です。開隆堂については、身近なSDGsの活動につながる意識が高いです。外国の政治作品や廃材作品を利用したコーナーなどが、世界的な課題に目を向けられるよう配慮されています。

光村については、これも光村の特徴なのですが、どこか開いてもらえれば分かるのですが、道徳とのつながりの隣にクリップがあるのですが、観点が書いてあります。ほかの教科書は道徳とのつながりというのは書いてあるのですが、観点、項目まで、内容、項目までは書いてないので、どこの項目とつながっているのかというのが細かく書かれています。

それから、他教科との関わりも、この教科書の中に社会と関わっていると、例えば1年生の55ページ、エッシャーのパズル絵なのですが、これは数学科とつながっているという部分のコーナーを設けています。

最後に、日文ですが、日文は、この3冊になっているのが特徴です。各教科書のテーマがあり、発達段階に応じて学びを深めるように掲載しています。

以上です。

○原田委員長 ありがとうございます。

それでは、推薦のための協議に入りたいと思います。質問等ありましたらお願いいたします。はい、お願いします。

○伊藤委員 日常生活との結び付きというところがあると思うのですが、日常生活の中から造形的な美しさを見出す視点を生徒に培うためにはどのような工夫がされているのでしょうか。

○岡村委員 どの教科書にも、それは工夫されていて、前半が絵や彫刻というページになっていまして、後ろがデザインと工芸になっています。デザインと工芸は、家には例えばコップとか、食器とか、焼き物とか、そういったものがあったり、まちの中にあるロゴとか、それから都道府県のマークとか、そういった社会とのつながりがあったりします。

中には、こちら家庭科みたいなページもありますけれども、食器、お皿とかであったり、あと建築とか、まちの中とか、あと漫画とかであったり、そういった身近な生活で、パッケージとして、そういったことにも、どの教科書会社も工夫されて載せています。

○原田委員長 では、2号委員さんから何か質問がありましたらお願いします。

○石塚委員 私も美術の時間というのは60年近く前にいろいろ教わったのですが、その時間はただ描けばいい、絵を見せられて感想を言えで終わってしまったので、発想を広げるとするのは、すごく新鮮に映るのです。ですので、発想を養う工夫について、それぞれの教科書会社の取組について教えていただきたいです。

○岡村委員 各教科書の、それぞれ工夫しているのですが、例えば開隆堂は、これはウェビングマップ、他教科でも多分やったと思うのですが、そうやって発想を広げたり、あとこれは20ページですが、アイデアスケッチ、子供たちが制作の途中の段階とかも載せたりしています。

それから、先ほどもお話ししましたように光村のほうは、こういった子供たちがどういった思いで、これはバレエスーツなのだと思いますが、おばあちゃんに買ってもらったのだと、そういう話とか、ただ靴を描くのではなくて、自分の思いに合った、描いていくということで、うまい絵というよりも思いを大切にしていこうという発想で教科書に載っています。日文は、最後のほうに発想・構想を、こういうふうにしてみればどうですかみたいな、いろいろな方法が4ページぐらいあるのですが、こういうふう

個々にウェビングマップ、アイデアスケッチとか、ただ、作品だけではなくて、制作途中とかでも、それぞれが工夫されています。

○石塚委員 ありがとうございます。参考になりました。

○原田委員長 では、1号委員さんから何かありましたら。

○田部井委員 どれを見てもすごく考えられて、すてきだなと思って見せていただいたのですけれども、光村さんなんかは資料集で、別冊で1冊にまとまっているのが、すごく分かりやすく、すばらしいなと思ったのですけれども、ほかの教科書も結構まとまって、子供たちが分かりやすく技法紹介がありますよね。それを子供たちが自分で調べて、分かるようになっていて、本当にすばらしいなと思って見せていただきました。

○岡村委員 今は資料集というふうにあってもいいのですけれども、タブレットで、インターネットで、自分の興味が湧く資料とかを見つれたり、昔は本とか見ながら、動物の絵とか何かでやっていたけれども、今はインターネットがありますので、タブレットで、自分の必要な資料を見つれたりしていくので、これがあれば便利だが、なくでも大丈夫と中学校の先生が言っていました。

○田部井委員 そうでしたか。ありがとうございます。

○原田委員長 それでは、時間になりますので、美術の協議は、これまでといたします。

7月12日は推薦のための投票を行います。投票の前に改めて協議の時間を取ります。委員の皆様におかれましては、今日の協議を参考にし、各自でもう一度考えていただき、投票に臨んでいただければと思います。よろしくお願いいたします。

では続いて、保健体育に移ります。事務局より選定観点を確認してください。

○事務局 資料の3、25ページを御覧ください。他教科と同様に4つの大きな項目がございます。読み上げませんが、ご確認をお願いいたします。

以上でございます。

○原田委員長 では、保健体育部会長からご報告をお願いします。

○生方委員 それでは、教科の観点別に報告いたします。

初めに、1の概要についてでございます。東京書籍から説明します。14ページ、どの1時間の授業、各小单元もそうなのですけれども、導入のところに「見つける」というのがあります。そこで日常の経験や小学校で学習したことを基に課題を発見することができ、学習課題に向けて効果的な発問がされています。

1ページ前に戻って13ページには、各章の初めに各分野に関連する職業の人の話が東京書籍のみ掲載されており、生徒が将来的に運動やスポーツに目を向けられている工夫がされています。

続いて、大日本図書でございます。こちらも1時間の授業の導入でも「つかもう」ということで、表記されていて、生徒の身近な題材を取り上げて、主体的に取り組む態度を育むことができるように工夫されています。

5ページの絵です。口絵を見ていただきたいのですが、プロとアマチュア、特に中学生が大日本図書は一番多く掲載されていて、中学生がスポーツで活躍している写真を掲載して、運動やスポーツの意義や多様性について理解するための工夫がされています。

続いて、大修館書店でございます。20ページを御覧ください。どの授業にも1時間の授業の中で、内容区分が運動と体の発達、運動と体の健康、すごく細かくまとめられているため、基本的な知識や技能の習得がしやすくなっております。

また、103ページ、例なのでございますが、「体育の窓」を設けてあって、保健分野と体育分野を関連させて考えることができる工夫がされています。

続いて、G a k k e nです。導入の工夫で分かること、考えること、2つが設けられていて、学習の見通しが立てやすく、知識・技能の習得がしやすくなっております。

152ページ、こちらキャリア教育につながる学習内容に関連する職業の「J O B」として各見開き脇に紹介しています。

続きまして、2の資料についてでございます。東京書籍でございます。どの授業においても各小単元にキーワードがあって、今日の授業で何を学習するのかが分かりやすくなっていて、最後の「広げる」では、今日の学習を基に、次の学びへの意欲を高める工夫がされております。

続いて、大日本図書、この特徴は本文資料が見開き1ページに収まっていて、学習内容を整理しながら学習を進めることができる工夫がされています。また、参考に30ページを開いてもらって、本文の見出しで参照資料、トピックスが掲載してあるため、生徒の学習意欲をより引き出す工夫がされております。

続いて、大修館書店でございます。この1時間の最後に学習のまとめでは、グループなどで対話する場面が多く設定されており、対話的、協働的に学べるような工夫が見られます。

続いて、G a k k e nです。各小単元、1時間の授業の最初にイラストつきの発問、「ウォームアップ」というものが掲載されていて、生徒の学習意欲を引き出す工夫がされています。また、1時間の最後にキャラクターが設けられていて、学習内容も、より自分のこととして捉えられるようになっております。

続いて、3の表記・表現でございます。東京書籍でございます。学習のヒントや思考

を求めるキャラクターが随所に登場して親しみやすくなっています。関連する学習内容にリンクマークとして示されていて、そのほかに「見つける」、「?」、「活用する」、「広げる」などのマークがあって、生徒が主体的に考えたり、相手と対話できたりする工夫がされています。

続いて、大日本図書です。小単元の最初にキーワードが明記されているので、重要語句が一目で見やすくなっています。

続いて、大修館書店です。先ほども述べましたが、各項目のサブタイトルが細かく記載されていて、文字にインパクトがあるといった特徴がございます。

続いて、G a k k e nでございます。紙面が大きな判型を使用していて、視覚的にゆったりとしていて読みやすい工夫がされています。

最後に、4番の総括でございます。東京書籍です。1時間の構成の中で、「見つける」、「学習課題」、「課題の解決」、「本文資料を活用する」、「広げる」と同じ様に展開されていて、授業の流れが明確になっております。関連動画や思考ツール、ワークシートなども紙面を補完するデジタルコンテンツが1時間の最後に掲載されていて、他教科との関連が図れるような工夫が見られます。

続いて、大日本図書でございます。これは、左は本文、右は資料と、すごく見やすい工夫が取られています。教科内や他教科との関連をリンクで示し、家庭、地域との連携が「家」「地域」のマークで示されていて、家庭や地域における健康や安全について考える活動を掲載されています。

続いて、大修館書店でございます。学習の内容や重要な概念、見出しに示していて、見出しを読めば要点がつかめる工夫がされています。さらに、学習したことを確認する「保体クイズ」などで深い学びにつながるデジタルコンテンツが豊富に用意されています。

続いて、G a k k e nです。随所に関連という枠が設けられています。体育分野、保健分野等、あと他教科との関連が示されています。さらに、各章の扉を各項目に「章デジ」が設けられていて、各章に関連する動画などデジタルコンテンツから、より深い学びにつながるような工夫が見られます。

最後に、どの教科書におかれましても章、扉において章で学ぶ狙いや学習内容が示され、小中高の継続性が明記されています。

以上でございます。

○原田委員長　ありがとうございます。

それでは、推薦のための協議に入ります。まず、今の報告を受けて、委員の皆様から

ご質問等がありましたら、よろしくお願いします。

○萩原委員 本市では、越谷市がん対策推進条例が定められていて、がん教育というのを推進していると思うのですが、がん教育の取扱いがありますか。

○生方委員 がんに関しては2年生の保健の健康な生活と疾病の予防の中で、いろいろ生活習慣病とかも取り扱っている中で、いろいろ心臓病とか、いろいろな病気があると思うのですが、がんだけを扱う時間を1時間として各教科書では扱っております。

以上です。

○原田委員長 ありがとうございます。

そのほかにありますか。はい、お願いします。

○石塚委員 最近の生徒を取り巻く環境といいますか、社会環境とか、家庭の環境とか、友達環境とか、いろいろと変化がある、複雑化してきていて、悩むことが増えてきたのかというふうに感じております。それが1つの現象としては、例えば、不登校なんかあるかもしれませんし、そのときに心の健康、体の健康、互いに密接な関連を持っていますので、心の健康を保つための方法等につきまして、各教科書等に載っていますか。

○生方委員 ストレスに関しては、1年生の最初にやるのです。1年生の心身の発達と心の健康という中で、ストレスによる健康への影響だとか、対処方法についての記載があって、例えば東京書籍で178ページです。これはストレスに対処する方法のリラクゼーションの技能を動画で確認できるようになっております。また、大日本図書の47ページに、例えばストレスのはけ口、相談窓口等が掲載してあったり、あと大修館書店の59ページ、相談できるところとして掲載されていたりします。学研でも同じように、やはりストレス対策、リラクゼーションの強化だとか、SOSの窓口というのは、どの教科書でも扱っております。

以上です。

○石塚委員 ありがとうございます。参考になりました。

○原田委員長 1号委員さん、何か質問ございましたら、お願いします。

○小泉委員 ありがとうございます。保健体育ってスポーツとか、そういったイメージが強かったのですが、今はいろいろご説明いただいた中で、自分のことを大切にすること、ということを教えていただけるような教科なのかなと、心の健康もそうですし、実感しまして、そういうところを学校のほうでも子供たちに教えていただけるというのは、すごくありがたいなと思って、うれしく思いました。

心の健康って、どうしても道徳という教科との関連というところが、やはり想定されたのですが、私としては。道徳は、どちらかというと、周りの人を大切にしまし

ようという、何かイメージで、保健体育のほうで自分のことも大切にすることを、家庭でもそうですけれども、教えてくださるというようなイメージをちょっと持ったのですけれども、道德との関わりというか、関連付けるような、何かそういうところはいかなのかなというのが、ちょっと思ったのですがいかがでしょうか。

○生方委員 道德というものの関連ということで、やはりいろいろ教科横断的な視点で、どの教科との関連が図られているので、例えば先ほども紹介しましたがけれども、「保健の窓」、「体育の窓」とか、あと東京書籍、大日本図書ではリンクマークとして道德とここで関連しているよとか、具体的にはあれなのですけれども、そうやって、どの教科書もリンクマークがあって、ここはこの教科、ここは家庭分野、ここは道德の分野ということで、つながりがわかるよう、どの教科書にもリンクマークとして載っております。

○小泉委員 自分のことも大切にしながら、ほかの子のことも大切にできるよねという観点を育んでいていただけたらというか、教えていけたらいいなと思います。ありがとうございます。

○原田委員長 そのほかにご質問等はいいですか。

〔発言する者なし〕

○原田委員長 では、保健体育の協議は、ここまでといたします。7月12日は推薦のための投票を行います。投票の前に改めて協議の時間を取りますので、本日の内容について、各自でもう一度考えていただき、投票に臨んでいただければと思います。よろしくお願いいたします。

では、教科書の入替えを行います。

続いて、技術・家庭（技術分野）に移ります。

事務局より選定観点を確認してください。

○事務局 お願いいたします。資料3、27ページを御覧ください。

他の教科と同様、4つの大きな項目がございます。御覧いただければと思います。

以上でございます。

○原田委員長 では、技術・家庭部会長から報告をお願いします。

○山崎委員 失礼します。まず、東京書籍についてです。紙面をめぐって進めながら説明させていただきます。

学習内容の説明など細かく丁寧にまとめられ、記載されております。QRコードなどの動画を見ることで、視覚的にも作業の仕方や動きなどを知ることができ、より深い学びを実現することができます。内容のまとめの部分でも身の回りのものを例題として、社会における問題解決の例として記載されており、様々な部分から知識を深めることに

つながります。ガイダンスの段階から「最適化の窓」を取り入れることで、技術における見方・考え方について、どのような視点で考えるかを明確にすることができます。

そのほか、実際の問題解決に導くため、「問題の発見」、「課題の設定」、「設計」、「計画」、「製作」、「育成」、「評価」、「改善」、「修正」の流れが統一的に示されております。

教科書全体的にイラストやグラフなどの文字だけでなく、教科書を開いたときに学びの意欲を高めるための工夫もされています。例題に載っている製品や考え方などが学校にあるものや生活の中で身近なものが多くあり、それを基に問題解決や課題を生み出すという流れになっております。

各内容の社会と発展と技術では、技術の光と影について示されており、持続可能な社会のためにどのようなことができるか考えさせるよう工夫されています。

内容のまとめのページにおいて、技術の最適化という内容が書かれており、自分たちの問題解決と社会での問題解決のポイントや比較をすることができるため、より実践的な態度や考えを養うことができるようになっております。

見方・考え方に関する社会、環境、安全、経済のアイコンを示し、生徒にも課題解決がしやすいようになっております。さらに、頻繁に「D」の学習コンテンツマーク、QRコードにも関連して内容が示されております。各編に色の区別が統一されており、仕上げ学習の取りかかりが行いやすくなっており、また今時の目標やキーワードが示され、生徒に理解しやすいものとなっております。書体は全て色覚にも配慮したUDフォントとなっております、各内容は「理解する」「問題解決」に取り組み、「つながる」、「広げる」のまとめで構成されております。

続きまして、教育図書についてです。イラストや作業内容の写真が多く載っており、見やすくなっております。作業学習での理解度が深まりやすく、制（製）作品例の設計図が細かく丁寧に記載されているため、見やすいです。QRコードで大きく図面をチェックできるようになっており、細かい部分まで理解することができやすいです。

問題解決のためのページの各所に考えるポイントが記載されており、どのような視点で考えればよいか分かりやすくなっており、解決策のヒントやアイデアがあるため、解決策をより具体的になりやすいです。

授業の流れが教科書を見れば理解し、見通しを持つことができるようになっております。

各章では、知識だけでなく、比較検討しやすいようにイラストが並んでいたり、グラフなども分かりやすく記載されていたりするので、考えて学ぶための工夫もされています。

「社会の発展と技術」では、技術のプラス面とマイナス面について示されており、「技術の誠実な生かし方」を考えさせるよう工夫されています。また、内容のまとめの中で、SDGsや環境などキーワードを用いた視点から考えることができ、様々なものとの関わりを知ることができます。

「夢叶える技術」では、社会や環境との関わりが具体的に書かれており、技術によっていろいろな形で夢を実現していることが理解でき、よりよい発想を生み出すことにつながられています。

安全第一に作業を進めることができ、それぞれの内容の中で、「技ビト」で各分野のプロフェッショナルの人たちのインタビューの記載があり、技術を通して生活を豊かにする中での環境との関わりや安心安全であるための工夫など深い内容で学ぶことができるようになっております。

また、「どうして」、「なぜ」の流れが仕組まれており、その流れで、3つのステップとして「見つける」、「学ぶ」、「ふり返る」の流れが統一されています。アイコンやマークを活用し、安全、衛生教育、情報教育など、重要箇所に取り上げ、めあてと振り返りが一体化となっており、各年の最後には、評価の3観点について主体的に学習に取り組む理解と知識、技能、思考、判断、表現に関するまとめの問題があり、学習を振り返ることができます。

技術の例や「スゴ技」、「技ビト」、「先輩」、「先人」に聞いてみようなどの職人さんや伝統文化に触れ、問題解決の例を見ながら学習を進めることができ、現場に出ているプロの話が聞けるので、日常生活においてつながりが多く、キャリア教育にもつながりやすくなっています。

編ごとに色の区別が統一されており、資料等関連は全て本文の説明と関連付けてあり、調べ学習の取りかかりがスムーズで、今時の目標やキーワードが示され、生徒にとって理解しやすくなっています。文字の色が青い文字を採用してあり、色覚やUDに配慮されています。スキルアシストノートの活用が学習内容をより理解するための資料がついております。

開隆堂についてです。イラストと文字のバランスがよく、教科書全体が見やすくなっており、特別支援学級でも使いやすくなっております。

各項目にQRコードがあり、詳しく知りたい部分や箇所などを視覚的に理解することができます。また、図やグラフなどで比較検討したものが一目で分かるようになっており、知識だけでなく、見方・考え方に結び付けるような工夫がされています。

作業のページには、工具の使用方法に加え、作業のポイントが記載されているため、

作業の意識する部分や注意するポイントが明確になっています。ガイダンスのページから企業での製品開発についての技術の役割、見方・考え方、ものづくりの流れなどが明確に示されており、どのように技術的視点から考えるかが分かりやすくなっています。

各内容の最初のページに学習課題が設定されており、その課題に取り組みやすいようQRコードを読み込むことができ、そのコードから動画を見て課題に取り組めるようになっています。例題になる製作品一つ一つに「問題設定」、「解決」、「設計」、「製作」、「評価」、「改善」が具体的に書かれており、教科改善についてのワークシートがあり、学ぶ力の育成の向上にもつながります。

内容の最後にインタビューのページがあり、その仕事の本質を知ることができるようにもなっております。安全に作業するための服装や行動などがイラスト、文字によって分かりやすく表示されており、工具だけでなく、情報機器においても安心安全な使い方や体への負担も記載されており、より注意深く作業に取り組めるようになっております。

学びの見通ししやすいアイコンマークを活用し、安全への配慮や防災、伝統文化との関連、ほかのページや他教科との関わりが分かるようになっています。様々な場所には学習コンテンツ、QRコードが存在し、動画や資料により詳しく学ぶことができ、ページの最後にあるチェックでは、学習課題と対応として学習を振り返ることができます。

各年に関連のある内容や色の区別が統一されており、瞬時に調べ学習への取りかかりなども行いやすくなっております。また、「やってみよう」、「調べてみよう」など、関心や意欲を高める工夫があります。

色覚に配慮し、UDを用いた工夫もあります。各内容は、基礎・基本、問題解決、技術と私の未来のまとまりで構成されております。技術の出口では、社会の問題に技術で対応するために様々な技術を組み合わせ、考え方を深められるよう工夫されております。

以上でございます。

○**原田委員長** ありがとうございました。

それでは、推薦のための協議に入ります。今の報告を受けて、委員の皆様から質問等ございますでしょうか。はい、お願いします。

○**生方委員** 技術では実習というものも多いと思うのですが、流れや手順を生徒が分かりやすく理解するための工夫というのはありますか。

○**山崎委員** 資料のほうの2になりますけれども、見方や考え方ということもありまして、道筋を示しながら、どの教科書もですけれども、それぞれの項目ごとにQRコードもあり、そこから図を見ながら、実際に教科書のほうに、どの教科書も載っている、注意しながらやってくださいということと、それからこういうふうにすると、こうなりますよ

というような見通しがありますので、子供たちもそれを見ながら、ある程度できるようにはなっております。

○**原田委員長** ほかに何かありますでしょうか。では、石塚委員さんありますか。

○**石塚委員** 最近、学校でも生成A Iの取扱いがいろいろ出てきていて、私は得意ではないので、すごく不安なのです。何かA Iが人間を乗り越えてしまうのではないかという不安があって、とても心配をするのですけれども、その辺について、A I等の取扱いについて留意点、各教科書に載っていると思うのですけれども、その辺を紹介していただけますか。

○**山崎委員** どの教科書もA Iについては大きな柱はございませんでした。ですが、一面の中の一部分に載っているような扱いになっておりました。比較的どの教科書も後ろに索引というところがありまして、そこのところを見ていただくと、載っているところと載っていないところがあるのですが、例えば開隆堂ですと、後ろの280ページのところに文章やホームページを生み出すA Iの記述というのが、こういうような部分で、どの教科書も入っているような状態でして、今の段階では、全て正しいと受け止めてはいけませんよということと、あと便利なのですけれども、ただそれを先ほどもありましたけれども、人間の考えと全然合っていない場合もあるので、そこのところは、これからの社会の課題にもなっていくため、その点を先生たちが教えていくことが書かれておりました。

○**石塚委員** 分かりました。よろしくお願いいたします。

以上です。

○**原田委員長** ありがとうございます。1号委員さん、いかがでしょうか。

○**田部井委員** 今の時代でいうとコンピューターとか、プログラミングというのが必要不可欠になってくると思うのですけれども、安全にといたら変なのですけれども、正しい使い方を子供たちに教えるような工夫というのが、各教科書ありますか。

○**山崎委員** そうですね。最初の見開きのところで見いただくと、いろいろ気を付けてくださいというような説明とかもありまして、各教科書の内容によって場所が違ったりするのですけれども、例えば東京書籍の9ページの右上を見てもらいますと、コンピューターを使用するときの安全という欄がありまして、こういったところをまず説明します。小学校でも教わっているということもあるので、中学校では、このようなところをさらに、もうちょっといけないコンテンツに行ってしまうてはいけない、拡散してはいけないですよというような内容が、どの教科書も書かれてあります。ただ、多い、少ないの違いはありますけれども、書かれてありました。

○**田部井委員** ありがとうございました。

○**原田委員長** ほかに質問等ありますでしょうか。

〔発言する者なし〕

○**原田委員長** では、技術の協議は、ここまでといたします。7月12日に推薦のための投票を行います。投票の前に改めて協議の時間を取りますが、委員の皆様におかれましては、今日の協議を参考にし、各自でもう一度考えていただき、投票に臨んでいただければと思います。よろしくお願いいたします。

続きまして、技術・家庭（家庭分野）に移ります。

事務局より選定観点を確認してください。

○**事務局** 先ほど追加でお渡しした資料を御覧ください。1枚だけでお渡ししたものでございます。

そちら他の教科と同様、4つの大きな項目となっています。

以上でございます。

○**原田委員長** では、技術・家庭部会長から報告をお願いいたします。

○**山崎委員** よろしくお願いいたします。資料に沿って説明させていただきます。

東京書籍についてです。必ず身に付けさせたい基礎的な技能が「確かめよう」にまとめられています。また、QRコンテンツも充実しており、技能を確実に習得できるような工夫があります。さらに、「基礎・基本」、「基礎・技能」を用いてできる実習面や難易度の低い実習面を取り上げており、取り組みやすい各編の最後に学習のまとめや大切な用語の確認が記載されており、学習の振り返り、技術なんかも振り返りできるような構成になっております。また、基礎的な知識・技能が習得できるように工夫されています。

問題解決的な流れの具体例とともに、その後の学習や生活までの問題解決に生かすことができるようになっていきます。また実習の後に「できたかな」という項目があり、その各終末に「学習のまとめ」、「生活に生かそう」が設けられており、学習に関わりのある人からのメッセージを紹介する等のつながりがあり、主体的に学習に取り組む配慮ができるように工夫されています。

そして、教科書の最後に「選択」が設けられており、これまでの学習を基に、よりよい生活を想像するための態度を養うための工夫がされています。「私のオリジナル」が掲載されており、家庭や個の実態に合わせて選択できるよう実践例が多く掲載されているなど工夫されています。

また、生活メモに実生活に役立つ情報が記載されており、活用しやすくなっております。実物大の写真や多様なデジタルコンテンツ、コンピュータを用いたワークシートや

シミュレーション、思考ツール等学習効果を高めるための工夫がされています。安全マークや衛生マークをつけており、生徒の意識を高めるように工夫されています。

見開きごとに目標と学習課題が掲載されています。UDフォントや色彩覚醒に配慮されて、調理実習などの作業などは見開きで一連の流れで分かりやすく工夫されています。

ガイダンスの後、Bの「衣食住の生活」、Cの「消費生活、環境」、Aの「家族、家庭生活の内容」に配列され、巻末に「生活の課題と実践」が記載されています。学習指導要領にはA、B、Cで分かれていますのすけれども、記載されているのですが、この東京書籍においては、記載のされ方がB、C、Aということ他の教科書会社と変わっております。

教育図書についてです。「見つめる」、「学ぶ」、「振り返る」の3つの学習過程で展開し、話し合ってみようなど、主体的、会話的な活動を多く取り入れています。また、学習の目当てがはっきりと示されており、「ふり返る」で目当ての内容が身についたか、チェックできるようになっております。基礎的・基本的な知識を習得できるよう工夫がされています。

「見つめる」を受けて、生徒が自分ごととして捉えることができるよう、「見つめてみよう」に取り組むことで、学習と生活を結びつける工夫がされています。「つなぐ」、「つながる」が示されており、社会問題を自分ごととして捉えることができるようコラムなどの工夫が数多く記載されています。

学習内容に関わりのある人からメッセージやインタビューを紹介し、QRコードで動画も視聴できるように工夫されています。

布を使った製作や調理実習の例、アレンジの方法や組み合わせて作る実習例が掲載されています。

また、生徒が工夫しやすくできるようにロールプレイング等で活動例も記載されています。

ほかの領域と関連づいた実習例が多く掲載されています。衛生の注意事項に番号を表記してあり、二次元コードの横にデジタルコンテンツの内容が表記されています。色違いや図の見やすさ等UDに配慮されており、調理実習の作業などは片面、一面で流れが分かるよう工夫されています。

ガイダンスの後、A、B、Cの内容の順に配列され、巻末に生活の課題と実践が掲載されています。

開隆堂についてです。習得した知識及び技能などを実生活で活用するために生活の課

題と実践として多種多様な課題や豊富に広い視野から捉えられ、設定されています。

また、「考えてみよう」が記載されており、実践的な活動に意欲的に取り組み、内容のまとまりごとに学習のまとめが記載されており、知識・技能の定着を図る取組がされています。

身近なことから考えられる課題が設定されており、生徒が生活の中で課題を発見しやすくなっています。そして、タイトルで何を学ぶかが示され、科学的根拠に基づき視覚的に理解しやすいようまとめられており、学習の見直しが持てるように工夫されています。

また、興味、関心、疑問から人や物、事柄を対話し、課題解決に向かう力を養うよう工夫されています。

「考えてみよう」、「やってみよう」が設定されていることで、実践的、体験的な活動に取り組みやすく、様々な言語活動ができるよう設定されています。また、ロールプレイやふれあい体験、高齢者インタビューや実際の中学生の取組や地域の取組など、人との関わりなど考えることができるように工夫されています。

グループワークの様子等の活動例が記載されています。また、実習例だけでなく、個に応じた含められる内容が掲載されており、資料が豊富で発展的な学習にもつなげるよう工夫されています。

科学的な見方・考え方が示され、統計資料やグラフを用いて説明の根拠が示されてあったり、学習効果を高めるための工夫がされていたりします。安全マークが付してあり、衛生の注意事項のマークを表記していたり、食物アレルギーを含む食材には黄色い線をつけたりして注意を促す表記などの情報も含め、調理実習例に具体的に記載されています。

見開きごとに学習の目標も記載されています。フォントや色彩等UDを活用しており、調理実習などの作業には見開きで一連の流れが分かりやすく工夫されています。

ガイダンス後、A、B、Cの順の領域で配備され、巻末には生活の課題と実践が記載されています。

以上でございます。

○原田委員長 ありがとうございます。

それでは、推薦のための協議に入ります。今の報告を受けまして、委員の方から質問や、あるいはご意見等ありましたら、お願いいたします。はい、どうぞ。

○鈴木委員 家庭科ではSDGsとの関係も深いと思うのですが、その辺の工夫はいかがでしょうか。

○山崎委員 例えば開隆堂ですと、最初のページのほうに、8ページ、9ページのところにいろいろな文字等、それからその場に応じた写真なんかが、こんな形で載っております。あとは、そのページの中で、またいろいろと細かく内容ごとに関係のあるものを記載してあります。

172ページをちょっと見ていただきますと、この一連の中に「持続可能な食生活を目指して」という項目があるのですが、そのことに関して、その下に食生活の部分とは、この家庭科がSDGsとどのように関わっているかということで、1、2、3、6、9、12、13、14も関わっていますよというような形で記載しています。それぞれSDGsについては、この開隆堂が多めにちょっと入っているのですが、その他の教科書につきましても、直接これに関わっているという説明があります。

○原田委員長 そのほかに質問ありますか。石塚委員さん、何かありますでしょうか。

○石塚委員 この前、ニュースでビワアレルギーについてありまして、すごくショックを受けました。なので、食物アレルギーに今まで以上に関心を持ちました。そういった点に関わって、各教科書での工夫等、もしあれば教えていただけますか。

○山崎委員 3つの業者のほうにも書かれてありまして、東書ですと、注意してくださいと材料のところに三角マークが書かれてありました。例えば8、9ページを見ていただくと、そこのところに「サステナブルクッキングに挑戦しよう」とあるのですが、そこのところに、例えば左側のページのドライカレーのひき肉、そこのところに三角、黄色の中にマークが貼られてありまして、これが原因となる材料ですよというところで、こういう場合が示されています。

それで、教育図書については、この材料のところに赤い線が引かれてあります。137ページを開いていただきますと、卵焼きがあるのですが、そこの下のほうに卵のところに赤い線が引かれてあります。気をつけてくださいというようなこと。

それから、開隆堂では、149ページを開いていただきますと、ミネストローネがあるのですが、そこのところに黄色い線があるのですが、そこのところがアレルギーのもですよということで、知らされております。このような形で、子供たちのほうにも、これが入っているから気をつけてくださいねということで指導ができるようになっていきます。

○石塚委員 分かりました。ありがとうございます。

○原田委員長 ありがとうございます。1号委員さん、いかがでしょうか。

○小泉委員 ありがとうございます。

私は、義務教育が終わって、子供たちに、社会に出るに当たって自立してほしいとい

う思いがあります。学校にもそういうことを期待しております。社会に出たイメージが一番イメージできる教科かなと思っておりまして、職業に何かつなげられるようなイメージを持たせてくださる工夫が、さっきもちらっと拝見したらあったので、各教科書さんで、何かそういった工夫があれば教えていただきたいなと思ったのですけれども、いかがでしょうか。

○山崎委員 どの教科書のほうにもそうなのですけれども、実際に体験した人の話が、例えば教育図書ですと、265ページになります。「先輩に聞こう」という欄がありまして、琵琶湖の環境保全から生まれた「ヨシノート」とかというのですけれども、こういったような自分の生活ではなくて、社会に職業としてつながるように書かれている部分もありますし、それから最後のまとめのところです。

振り返りをというような、266ページ、同じ教科書なのですけれども、生活の課題と実践というところを見ていただいて、こちらのところを各自で課題を考えて、それに伴って、どういうふうになれば改善していくのかなというところを時間によって、1時間しか取れないこともあります。2時間ですとか、最後までいきまして、そのときにどういうふうにしていったら一番いいだろうねというようなところを、このようにまとめてありました。

○小泉委員 ありがとうございます。

○原田委員長 ありがとうございます。

では、家庭科の協議は、ここまでといたします。7月12日は推薦のための投票を行います。投票の前に改めて協議の時間を取りますので、本日の内容について、各自でもう一度考えていただき、投票に臨んでいただければと思います。よろしくお願いいたします。

では、教科書の入替えを行います。

○事務局 失礼します。これより英語の協議になりますが、委員長の原田様が英語の部会長になりますので、越谷市立小中学校使用教科用図書選定委員会条例5条3項の規定に基づき、英語の協議の議長を副委員長の石塚様にお願いいたします。

〔委員長、副委員長と交代〕

○石塚副委員長 それでは、英語の協議の間、議長を務めさせていただきます。委員の皆様にはご協力をよろしくお願いいたします。

事務局より選定観点を確認してください。

○事務局 資料3の31ページを御覧ください。

他の教科と同様、4つの大きな項目がございます。ご確認くださいと思います。

以上でございます。

○石塚副委員長 それでは、英語部会長から報告をお願いします。

○原田委員 では、報告をいたします。

まず、東書から内容、資料、表記、表現、総括についてお話をいたします。内容につきましては、東書の場合は、1番、2番、4番について説明いたします。資料のほうを御覧ください。

補助的なお話をしながら進めてまいります。読み上げます。各ユニットの構成が扉、part 1、2、Read and Think 1, 2、Unit Activityとなっています。それぞれのpartにpracticeがあり、スモールステップを積み重ねているので、少しずつやりながらゴールの活動に取り組みやすくなっており、知識の定着を図っています。とされています。

(2)です。各StageにStage Activityが設定されております。自分のことについて話したり、書いたりする表現力を身に付けられるよう内容が一貫して分かりやすいと感じます。マッピングを利用しながら、思考を深める工夫がされています。

マッピングは、2学年の、2枚目の16ページ、このように考え方をまとめるような工夫がされています。この手法に関しましては、他の教科でも取り組んでいる教科は多いと思います。

また、「学び方コーナー」というのがありまして、そのことにつきましては、文法のルールなどが学びやすいようにまとめてあります。

Real Life Englishコーナーでは、より実践的な題材を、場面設定のもとに4技能5領域を活用しながら学習を行うようにしているのが内容です。

次に、資料につきましては、様々あるのですが、2番のところ、東京書籍は、とにかく写真が鮮やかです。そして、子供の関心を引き付けるような工夫がされていると調査員の意見でした。また、付録カードが切り離せるようになって、実際に点線が入っていて、その場で作業がなく切れるようになっています。こういうのもよかったというような調査員の意見がありました。

内容につきましても、小学校1年生の「ずっとずっと大好きだよ」とか、小学校4年生の「ごんぎつね」などが取り上げられているという資料の特徴があります。

表記・表現につきましては、これは全部のところで言えますけれども、1学年では手書きに近い書体が使われています。それから総括につきましては、全学年の教科書の巻末にある「CAN-DOリスト」というのは到達目標だったりするのですが、全学年の

5 領域別の目標が記載されていて、学びの系統性が分かるように1年生には1年生を大きくして、2年と3年というような形で東書では書いてあります。

次、開隆堂になります。内容について読み上げます。各プログラムの構成が扉、目標の確認、「S c e n e s」場面で新しい表現を学習する。「本文」題材の内容について考える。「R e v i e w & R e t e l l」本文の振り返り、「A c t i o n」学んだ内容で自己表現、「英語早わかり」学んだ内容整理となっています。一定の基準で学習ができるように設定されています。

思考・判断・表現のところは、各プログラムのシーンでは、登場人物の会話等から、どんなことを話しているのか、想像するところから始まっています。実際のコミュニケーションを行う目的や場面がイメージしやすくなっています。O u r P r o j e c t では、さらに自分の考えを話す、発表する活動が設定されています。自分の考えを述べるができるように工夫されています。

学びに向かう力については、各学年3か所に「C o f f e e B r e a k」、1年生ですと最初は60ページです。「C o f f e e B r e a k」があつて、本文題材に関連した情報を取り上げて生徒の知的好奇心をくすぐるようなコンテンツとなっています。

資料です。今言った漫画やアニメ、キャラクターなど、楽しみながら英語を学習することができるように工夫がされています。

それから、この教科書には、歌は入っていません。

それから、表記におけるところなのですが、ここは1学年、前半までは手書きに近い書体です。全学年本文と新出単語の字体が異なる、この表記があるところ以外は、書体は同じです。異なるとは、どういうことかということ、子供の書く字と同じようになっているのが単語のほうで、2、3年生などになると本文のところは、ちょっと難しい字体になっているということです。

あとは、文字の大きさにつきまして、4線の2番目と3番目の間が広く設定されています。どの教科書も書き込み型になっているので、この教科書はちょっと広目で、子供がそこに書き込みやすくなる工夫があります。

それから、総括につきましては、「G e t R e a d y」では小学校からの学びがつながっています。「M y H e r o」、これは2年生に入ります。後で、次のところの3年生でありますけれども、「M y H e r o」で自分たちが文章等を作って伝えていくことができます。

次に、三省堂の内容についてです。各L e s s o nの構成が、P a r t 1, P a r t 2, P a r t 3, G o a l, A c t i v i t yとなっており、つながりを持って学習

することができます。Side Storyでは会話の場面と言語の働きを意識し、やり取りする設定になっています。

(2)です。各LessonのGoal Activityでは、自分の考えや気持ちを整理して書いたり、Projectでは、ペアやグループで自分たちでアイデアを考え、企画し、発表する活動であったりします。

(3)です。Small Talk Plusが新設され、提示されたトピックをもとに即興で会話を考え発話できる活動となっています。

それで、資料のところで、1年生のサイコロトークというのがあります。1年生の最初に、小学校のときに扱う内容をやりながら、新しい中学校だと、多分出身小学校が混ざるだろうということを想定し、いろいろなやり取りをできるようにということで、サイコロをしながら会話ができるような、そういった工夫がされていると思います。

巻末の資料、歌は3年生の最後にまとまって載っています。それ以外は、歌は載っていません。特徴として、文法的なものの順番が、三省堂だけは、他の教科書会社とちょっと違います。

それから、表記・表現につきましては、1学年では手書きに近い書体を使用しています。

総括につきましては、「My Hero」、これは1年生に出てきます。ここの「My Hero」は、35ページ、1年生で出てくるので、若干先ほどの開隆堂さんよりも、もうちょっと小学校からの姿に近いような、ただ自分についての説明をしたいという、そういう内容が書いてあります。

それから、多文化共生や公平、本紹介など、他教科で学習する内容もLesson内で取り上げられています。

続いて、教出です。教出の内容についてですけれども、1番、2番、4番をお話します。各Lessonが扉、Part、Task、Grammarで構成されており、はじめに扉でGoalの確認をして、Part1で多様な英文にふれて知識を習得し、Task、Grammarで整理できるよう段階をへて身に付けられるよう工夫されています。

(2)、このProjectでは、ペアやグループで課題解決に取り組み、話し合ったことを発表する設定になっていますUseful Expressionsでは、日常的な場面で使える表現が幾つかパターン練習を通して学ぶことができます。

4番、各単元では、3つのパートの後にTask・Grammarの活動があり、4技能5領域を繰り返し学習するようになっています。

印象として、3年生で読み物が多いような印象があります。資料につきましては、巻

末に英語学習法が載っています。英単語の仕組みや、学習法なんかが載っています。

あと、辞書の使い方について取り扱っているのが特徴的だなというような印象です。

先に進みます。筆記、表現については、1 学年前半は手書きに近い書体、2、3 年生になると、本文と新出単語の書体が異なります。

それから、総括なのですけれども、全学年の教科書の巻末に、全学年の学習到達目標が5 領域別に示されています。全学年とも、こういった形で1 年、2 年、3 年というふうに分かりやすく系統性が示されています。

続いて、光村図書に移ります。内容です。内容1 番、2 番、3 番ご説明します。各Unit は扉、Part, Goal で構成されており、段階的に学習できるよう設定されています。Goal では、目的、場面、状況が提示され、習得した知識及び、技能を使用して、聞いたり話したりすることで、さらに理解を深めて表現する力が身に付くよう工夫されています。

Active Grammar では使用した言語材料の整理が最終的にできるよう工夫されています。

Daily life では実社会に即したコミュニケーションの「目的・場面・状況」を設定した場面を設定したものになっています。

教科書本文は3 年間、1 つずつのストーリーになっており、登場人物は様々や体験や交流を通して、自分に置き換えて考えることで、自然なアウトプット、習ったことをもう一回自分で活用してみるというような活動につながっている工夫があると感じています。ここも3 年生の読み物が、とても多いなというような印象があります。

それから、資料につきましては、World Tour があり、例えば1 年生だと45 ページです。ここでは世界の現状、社会問題が取り上げられていますし、幅広い分野に触れるような仕様になっています。

それから、ここも歌がありません。歌はついていないです。

表記・表現につきましては、1 学年前半では手書きに近い書体、後半はゴシック体です。それから、2 番の文字の大きさのところなのですけれども、同じく4 本線の2 番目と3 番目の間が、とても広く設定されていて、書き込みを意識したものになっています。

総括としましては、全学年の教科書の巻頭に全学年の外国語の目標が示されています。

あと、例えば帯の題材でSpeaking があったり、いろいろな資料等もいっぱい使える工夫があたりします。

最後、啓林館です。啓林館も内容について、1 番、2 番、4 番についてご説明します。各Unit は、とびら、Part、Thinks & Speak / Write、Focus

s o n F o r mで構成されており、段階的に学習できるよう設定されています。各 U n i tで本文を読んだあと、L i s t e n, S p e a k, W r i t eの活動があり、各技能が習得されるようスモールステップで課題に取られています。

幾つかのユニットでは、学んだ後にプロジェクトが設定されています。自分が伝えたいことを発表したり表現したりする力を伸ばせるよう工夫がされています。

各単元の扉ページにU n i t G o a lを示しています。学期末のプロジェクトに向けて、各単元でテーマに沿ったまとまった分量のある英文を実際に読んだりするなど、4技能5領域を段階的に学習する工夫があります。

資料のところが、同じように語順チェック、英語の学びというページがあるのですが、そこが文法のまとめみたいなのところなのですが、その語順チェックができるようになっています。写真やイラストは調査資料に書いてあるとおりです。

表記につきましては、1学年では手書きに近い書体が使われています。

総括については、ハザードマップや3R、平和学習など、他教科で学習する内容もU n i tの中で取り上げられているということが調査結果として挙げられます。

以上です。

○石塚副委員長 ありがとうございます。

それでは、推薦のための協議に入らせていただきます。今の報告を受けまして、委員の皆様からご質問等がありますでしょうか。

○神田委員 英語の授業では、即興で話すということが求められてきているのかなというふうに認識しているのですが、各者でその辺の工夫がもしあれば教えていただければと思います。

○原田委員 どの教科書もあります。それで、即興のときの、まずペアワークというのが設定されている、これはどこもありますし、例えば相槌言葉であるとか、そういうものも小学校でやっていたものが、そのまま使えるような、やりとりということに関して意識した活動が入っています。1個ずつは言いませんけれども、以上です。

○石塚副委員長 ほかにございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

○石塚副委員長 それでは、続きまして推薦のための協議をしたいというふうに思っております。まず、観点に沿って、皆様からご意見をいただければと思いますが、いかがでしょうか。

保護者の立場から、1号委員さんいかがでしょうか。

○田部井委員 どの教科書もいろいろ工夫されていると思うのですが、単純なので

すけれども、覚える単語とか、中学で覚える単語数とかに違いはあるのでしょうか。

○**原田委員** あります。内容の資料の（４）の下から中黒２つ目のところに中学校での総新語数というのがあって、これは微妙に違いますし、語彙自体もちょっと違うところもあります。聞いていただけたので、ついでにＱＲコードの数も下の中黒のところに書いてあったりしますので、見ていただければと思います。

以上です。

○**石塚副委員長** ほかにいかがでしょうか。どうぞ。

○**小泉委員** リスニングが難しいなというのがあるのですけれども、そういったリスニングの工夫というのを教えていただければと思います。

○**原田委員** それはＱＲコードで、外国の方がしゃべっていることはもちろん、オリジナルのものもあれば、文科省とか、そういったところの題材を見ることができるものもあります。

○**小泉委員** 授業の中で、一斉に聞いたりすることはありますか。

○**原田委員** それもしますし、家庭学習で、自分でそれを見ればできてしまうので、昔、ＣＤを買って聞いて自分でとか、カセットを聴いて自分でというのが、このＱＲコードで、教科書で探さないでもできる。そういう形にどの教科書もなっています。

○**小泉委員** ありがとうございます。

○**石塚副委員長** ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

○**石塚副委員長** 時間も迫ってきておりますので、それでは英語の協議につきましては、終わりしたいと思います。７月１２日は推薦のための投票を行います。投票の前に改めて協議の時間を取ります。委員の皆様におかれましては、今日の協議を参考にいたしまして、各自でもう一度考えていただき、投票に臨んでいただければと思います。

それでは、以上で議長の任を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。

○**事務局** ここからの議長は、委員長の原田委員長様にお願いしたいと思います。

〔副委員長、委員長と交代〕

○**原田委員長** では、以上で本日予定されていた議事を終了いたしました。皆様のご協力ありがとうございました。また、次回よろしくお願いいたします。

○**事務局** 長時間にわたりご協力いただきましてありがとうございました。

事務連絡を２点させていただきます。

１点目、次回は７月９日火曜日１３時３０分から、本日と同様に、こちらの越谷市教育センター会議室ＡＢが会場となります。本日の続き及び本日協議した教科の中で、理科の

投票を行います。

2点目です。本日配付しました資料は、お持ち帰りいただいて、次回お持ちくださるようお願いいたします。

なお、資料3につきましては、不備がございましたので、お持ち帰りいただいて、また次回訂正したものをお渡しいたします。

傍聴の皆様にご連絡いたします。本日お渡しした資料は全てお持ち帰りいただくことはできませんので、座席の上に置いてお帰りいただきますようお願いいたします。

以上をもちまして第2回選定委員会を終わります。ご協力、本当にありがとうございました。

---

上記の内容に相違ありません。

令和6年/2月 17 日

越谷市立小中学校使用教科用図書選定委員会 委員長

原田 隆子